

第3章 分類別に見た施設の現状

目次

1. 行政系施設	3-3
(1) サービス状況	3-3
(2) 建物状況.....	3-4
(3) 管理運営状況	3-5
(4) 利用状況.....	3-6
(5) コスト状況.....	3-7
(6) まとめ	3-8
2. 消防施設.....	3-9
(1) サービス状況	3-9
(2) 建物状況.....	3-11
(3) コスト状況.....	3-13
(4) まとめ	3-14
3. 学校教育施設	3-15
(1) サービス状況	3-15
(2) 建物状況.....	3-18
(3) 管理運営状況	3-21
(4) 利用状況.....	3-22
(5) コスト状況.....	3-23
(6) まとめ	3-25
4. 地域コミュニティ施設.....	3-26
(1) サービス状況	3-26
(2) 建物状況.....	3-30
(3) 管理運営状況	3-32
(4) 利用状況.....	3-33
(5) コスト状況.....	3-34
(6) 周辺自治体の施設状況.....	3-35
(7) まとめ	3-36

5. 教育施設.....	3-37
(1) サービス状況	3-37
(2) 建物状況.....	3-39
(3) 管理運営状況	3-40
(4) 利用状況.....	3-41
(5) コスト状況.....	3-42
(6) 周辺自治体の施設状況.....	3-43
(7) まとめ	3-44
6. 文化スポーツ施設	3-45
(1) サービス状況	3-45
(2) 建物状況.....	3-48
(3) 管理運営状況	3-49
(4) 利用状況.....	3-50
(5) コスト状況.....	3-51
(6) 周辺自治体の施設状況.....	3-52
(7) まとめ	3-53
7. 保健医療福祉施設	3-54
(1) サービス状況	3-54
(2) 建物状況.....	3-58
(3) 管理運営状況	3-60
(4) 利用状況.....	3-61
(5) コスト状況.....	3-62
(6) まとめ	3-63
8. 産業振興施設	3-64
(1) サービス状況	3-64
(2) 建物状況.....	3-65
(3) 管理運営状況	3-66
(4) 利用状況.....	3-66
(5) コスト状況.....	3-67
(6) まとめ	3-67

9. 環境施設.....	3-68
(1) サービス状況	3-68
(2) 建物状況.....	3-69
(3) 管理運営状況	3-70
(4) 利用状況.....	3-70
(5) コスト状況.....	3-71
(6) まとめ	3-71
10. 市営住宅	3-72
(1) サービス状況	3-72
(2) 建物状況.....	3-73
(3) コスト状況.....	3-75
(4) まとめ	3-75
11. その他施設.....	3-76
(1) サービス状況	3-76
(2) 建物状況.....	3-78
(3) 管理運営状況	3-80
(4) 利用状況.....	3-81
(5) コスト状況.....	3-82
(6) まとめ	3-83

本章では、施設の現状に関して、本市の公共施設のなかでも、広く市民の皆さんが利用している市民利用施設を対象に、以下の基本的な分析の視点をもとに、整理・分析を行います。

【基本的な分析の視点】

①サービス状況	⇒ 施設の目的・機能、貸室の保有状況
②建物状況	⇒ 建設年度、構造形式、施設面積、保有形態、改修状況
③管理運営状況	⇒ 管理運営形態、開館状況
④利用状況	⇒ 利用数の推移、利用の傾向、利用密度
⑤コスト状況	⇒ 維持管理費、事業運営費、年あたり施設整備相当額

サービス状況では、施設の目的・機能のほか、位置や所在地域、その施設の建設年度、施設面積、そして施設が保有している貸室（例えば、会議室や実習室）の状況を見ていきます。

建物状況では、各施設が保有・賃借している建物の状況を整理します。この際、建設年度や構造形式、施設面積、保有形態、老朽化に対応した改修状況を見ていきます。

〔改修状況の把握について〕

建物の改修は施設によって対象となる箇所や範囲が様々であるため、以下に示す「リニューアル工事」と「老朽化対策工事」を実施している建物を抽出しています。

○リニューアル工事：建物の外装・内装・空調の「全て」を全面的に改修する工事

○老朽化対策工事：建物の外装・内装・空調の「いずれか」を改修する工事

管理運営状況では、管理運営形態や開館状況を見ていきます。

利用状況では、利用件数、利用の傾向、利用密度など、各施設の利用状況を見ていきます。

コスト状況では、毎年発生する維持管理費や事業運営費だけではなく、年あたりの施設整備相当額を考慮したフルコストや、面積あたりの維持管理費を見ていきます。

〔年あたりの施設整備相当額、フルコストについて〕

「年あたりの施設整備相当額」は、施設の延床面積に応じた建設費（＝施設整備費）を算定し、耐用年数を60年として年あたりの額に換算したものです。

実際の施設整備費は建設時に発生しますが、建物は耐用年数を通じて利用されるため、年あたりの施設整備相当額をサービス提供に必要なコストと考えます。

「フルコスト」は、毎年発生する維持管理費や事業運営費に年あたりの施設整備相当額を加えたもので、サービス提供にかかる実質的なコストを表します。

本章の整理・分析を行う際、市民利用施設は、第2章で整理した大分類区分に基づく11分類（行政系施設、消防施設、学校教育施設、地域コミュニティ施設、教育施設、文化スポーツ施設、保健医療福祉施設、産業振興施設、環境施設、市営住宅、その他施設）より細かく規定した中分類区分を対象に調査します。

なお、消防施設、市営住宅は、一般市民が日常的に使用するとは考えにくい施設のため、これら施設の情報整理に関しては、サービス状況、建設状況、コスト状況を対象とします。

また、行政系施設、消防施設、産業振興施設、市営住宅、その他施設は貸室の提供を行っていないことから、貸室の保有状況を省略するとともに、地域コミュニティ施設、教育施設、文化スポーツ施設に関しては、本市の各施設と周辺自治体の施設状況を見ていきます。

表-1 市民利用施設（本章の整理対象）

節	大分類	中分類	市民利用施設 (本章の対象施設)
1	行政系施設	庁舎	●
		連絡所	●
2	消防施設	消防署	△
		消防器具置場	△
		その他消防施設	△
3	学校教育施設	小学校	●
		中学校	●
		その他学校教育施設	●
4	地域コミュニティ施設	地域活動施設	●
5	教育施設	文化財施設	●
		図書館	●
		その他教育施設	●
6	文化スポーツ施設	スポーツ施設	●
		文化施設	●
7	保健医療福祉施設	保健医療施設	●
		子育て支援施設	●
		障がい者福祉施設	●
		高齢者福祉施設	●
8	産業振興施設	農業振興施設	●
9	環境施設	環境施設	●
10	市営住宅	市営住宅	△
11	その他施設	その他施設	●

※ ●に関しては、①～⑤の事項を整理、△に関しては、①サービス状況、②建物状況、⑤コスト状況を整理。

※ 行政系施設、消防施設、産業振興施設、市営住宅、その他施設は貸室を提供していないため、「貸室の保有状況」を省略する。

1. 行政系施設

(1) サービス状況

ア. 施設の目的・機能

行政系施設に関しては、国分地域に市役所があるほか、北部地域と東柏ヶ谷地域、国分地域に連絡所がひとつずつ設置されています。連絡所では市庁舎まで行かずに住民票など、各種証明書の発行手続きを行うことができます。

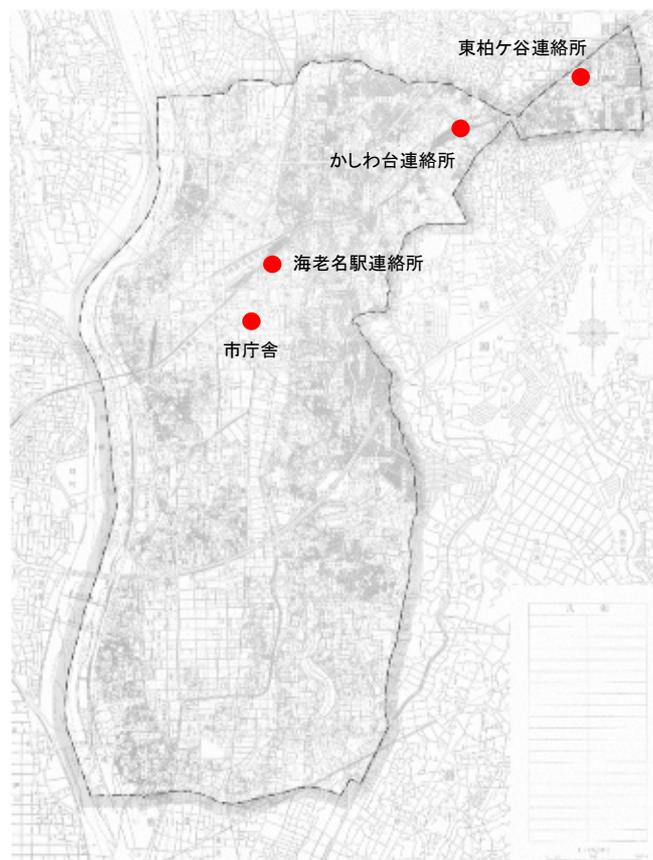


図 3-1 施設位置(行政系施設)

表 3-1 施設一覧(行政系施設)

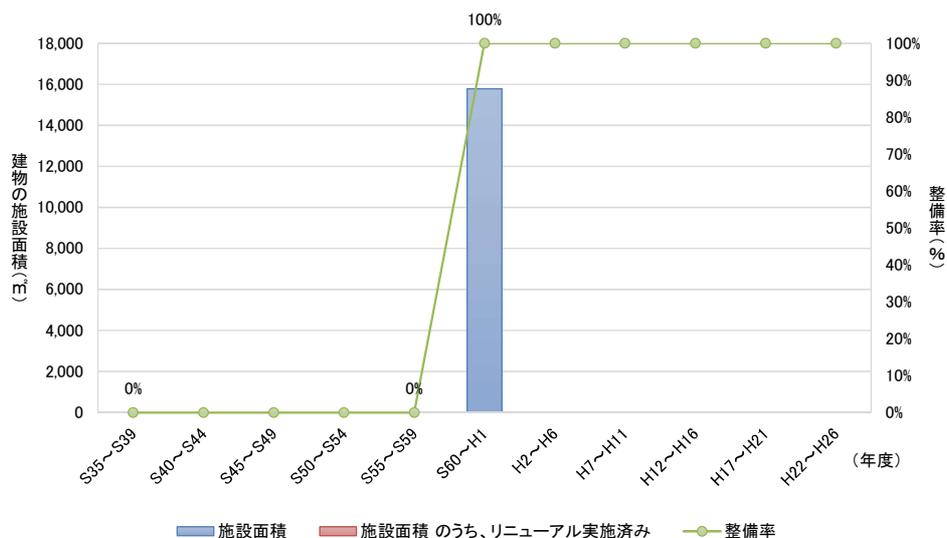
NO	施設名	地域	建設年度	施設面積(m ²)	備考
1	市庁舎	国分	S63年度	15,784	本館、西棟
2	東柏ヶ谷連絡所	東柏ヶ谷	-	8	そうてつローゼンさがみ野店内に設置
3	かしわ台連絡所	北部	-	22	かしわ台駅内に設置
4	海老名駅連絡所	国分	-	37	ビナフロント内に設置
合計				15,851	

※ かしわ台連絡所、東柏ヶ谷連絡所、海老名駅連絡所は市所有の施設ではないため、建設年度は省略する。
 ※ 施設一覧に記載されているのは「建物の建設年度」であり、「施設の開設年度」とは異なる場合がある。

(2) 建物状況

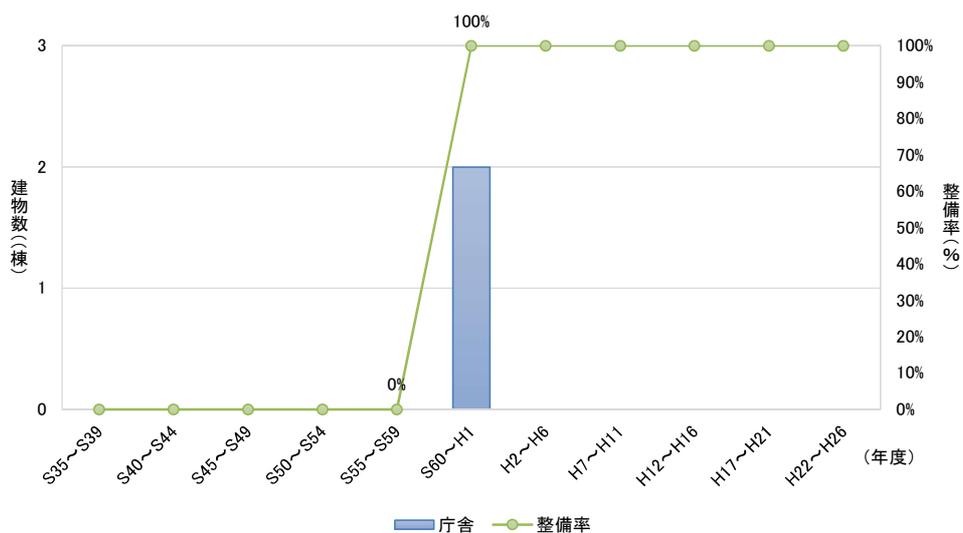
市庁舎は本館、西棟ともに昭和 63 年度に建てられた建物であり、建設後 25 年以上経過しています。市庁舎（本館）は、リニューアルには至らないものの、外装・空調などの老朽化対策工事を実施しています。

保有形態に関して、2 つの連絡所は民間建物の一部を賃借して設置しています。



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-2 建設年度別・建物の施設面積（行政系施設）



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-3 建設年度別・建物の棟数（行政系施設）

表 3-2 建物一覧(行政系施設)

NO	施設名	建物ID	建設年度	構造形式	建物の施設面積(m ²)	保有形態
1	市庁舎	市庁舎(本館)	S63年度	鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)	15,051	市所有
2		市庁舎(西棟)	S63年度	鉄骨造(S)	733	市所有
3	東柏ヶ谷連絡所	(そうてつローゼンさがみ野店内)	-	-	8	賃借(有償)
4	かしわ台連絡所	(かしわ台駅内)	-	-	22	賃借(有償)
5	海老名駅連絡所	(ピナフロント内)	-	-	37	賃借(有償)
合計					15,851	

※ 建物の施設面積において、「青網掛け」は外装・内装・空調の「全て」を全面的に改修するリニューアルを実施済み、「緑網掛け」は外装・内装・空調の「いずれか」を改修する老朽化対策を実施済みであることを示す。

(3) 管理運営状況

行政系施設は、すべて市が運営を行っています。市庁舎に関しては、清掃や点検、警備といった建物管理全般は民間業者などに委託しています。

開館時間に関しては、市庁舎や東柏ヶ谷連絡所は平日 17 時 15 分に閉館しますが、かしわ台連絡所は平日 19 時まで、海老名駅連絡所は 20 時まで開館しています。また、市庁舎は月 2 回土曜開庁を行っているほか、海老名駅連絡所は土・日・祝日(年末年始を除く)も開館しており、利用者の利便性に配慮した運営が行われています。

表 3-3 管理運営状況一覧(行政系施設)

NO	施設名	管理運営の形態	平日開館状況		休日開館状況		備考
			開館の有無	平日の開館時間	開館の有無	休日の開館時間	
1	市庁舎	直営	○	8時30分～17時15分	○	8時30分～12時00分	第1・3土曜日開庁
2	東柏ヶ谷連絡所	直営	○	10時00分～17時15分	×	-	土・日・祝日(定期休館日)
3	かしわ台連絡所	直営	○	10時00分～19時00分	×	-	土・日・祝日(定期休館日)
4	海老名駅連絡所	直営	○	10時00分～20時00分	○	10時00分～20時00分	

(4) 利用状況

連絡所においては毎年 4,000 人前後の利用があります。

利用者数を週あたりの利用者数に換算すると、かしわ台連絡所が 75 人／週、東柏ヶ谷連絡所が毎年 82 人／週程度となっています。また、かしわ台連絡所は東柏ヶ谷連絡所と比べ、開館時間が長くまた図書の受け渡しを行っています。

表 3-4 利用状況一覧(行政系施設)

NO	施設名	地域	施設面積 (㎡)	利用指標		利用数				利用の傾向			週あたり 利用者数 (人/週)
						指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度	3カ年平均	増加	
1	市庁舎	国分	15,784	データなし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	東柏ヶ谷連絡所	東柏ヶ谷	8	利用者数	人	4,349	4,154	4,219	4,241		↑↓		82
3	かしわ台連絡所	北部	22	利用者数	人	3,987	3,797	3,927	3,904		↑↓		75
4	海老名駅連絡所	国分	37	利用者数	人	-	-	-	-	-	-	-	-

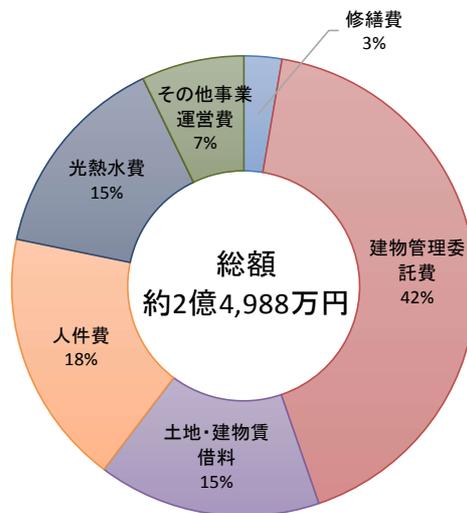
※ 週あたり利用者数は、年間利用者数（3カ年平均）を 52 週で割った値とする。

※ 海老名駅連絡所は平成 26 年度開設のため、当集計の対象外とする。

(5) コスト状況¹

行政系施設の支出は維持管理費²、事業運営費³も含め、年間 2 億 4,988 万円⁴となっています。内訳を見ると、建物管理委託費が約 42%と最も多く、次に人件費が約 18%、土地・建物賃借料と光熱水費が約 15%となっており、維持管理費が支出全体の約 60%を占めています。

施設ごとに見ると、市庁舎は、本市における市民利用施設の中で最大の面積を有する建物であることから、維持管理費も年間 1.5 億円程度支出しています。しかし、面積あたりの維持管理費を見ると、賃借料を負担する連絡所が大きくなっています。



※ 当グラフでは、1%未満の項目は表示しない。

図 3-4 支出の費目別割合(行政系施設)

表 3-5 コスト一覧(行政系施設)⁵

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設整備 相当額(千円)	フルコスト (①×②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/㎡)
1	市庁舎	147,784	92,978	240,762	97,132	337,894	9,363
2	東柏ヶ谷連絡所	504	2,874	3,378	-	3,378	63,000
3	かしわ台連絡所	2,400	3,340	5,740	-	5,740	109,091
4	海老名駅連絡所	-	-	-	-	-	-
合計		150,688	99,192	249,881	97,132	347,013	60,485

※ 連絡所の建物は民間が整備しているため、年あたり施設整備相当額は計上しない。

※ 面積あたり維持管理費については、施設面積の少数点以下を含めて計算しているため、本書の表中に記載されている数値に基づく算出値と異なる場合がある。

※ 面積あたり維持管理費の合計値欄には、全施設の平均値を記述する。

※ 海老名駅連絡所は、平成 26 年度開設のため、支出額は計上していない。

¹ 公共施設の支出は、市が負担と市以外が負担するものも含む実質のコストを計上する。

² 維持管理費は修繕費、建物管理委託費、土地・建物賃借料とその他費用からなる。

³ 事業運営費は人件費、光熱水費、事業運営委託料とその他費用を含んだものを指す。

⁴ 推計値は平成 22 年度から平成 24 年度までの支出金額を平均して算出する。

⁵ 各項目は合計値を算出し、面積あたりの維持管理費のみ全施設の平均値を算出する。

(6) まとめ

【市庁舎】

- 建物は本館・西棟ともに昭和 63 年度に建設されています。
- 建物規模が大きいこともあり、毎年の維持管理費が約 1.5 億円に上ります。
- 市庁舎は、建設後 25 年以上が経過していますが、市庁舎の本館は老朽化対策工事を行っています。しかし、今後も、リニューアルや老朽化対策が必要になることから、基金などによる事業費の手当てなど計画的な備えが必要になります。

【連絡所】

- 市民の利便性を考慮して、駅周辺に連絡所を 3 ヶ所設置し、市庁舎に行かずとも証明書発行など、各種手続きを行うことができます。
- 東柏ヶ谷連絡所、かしわ台連絡所は平日のみの開設で、利用者も年間 4,000 人、週あたり 80 人程度に留まっています。
- 海老名駅連絡所は平成 26 年度に開設された連絡所です。

2. 消防施設

(1) サービス状況

ア. 施設の目的・機能

本市には、消防庁舎のほか、2つの分署と1つの出張所に、15の消防団器具置場を加えた計19の消防施設が各地域に分散して配置されています。

また、消防南分署内には、市民が地域活動の拠点として利用できるコミュニティ防災センターを設置しています。

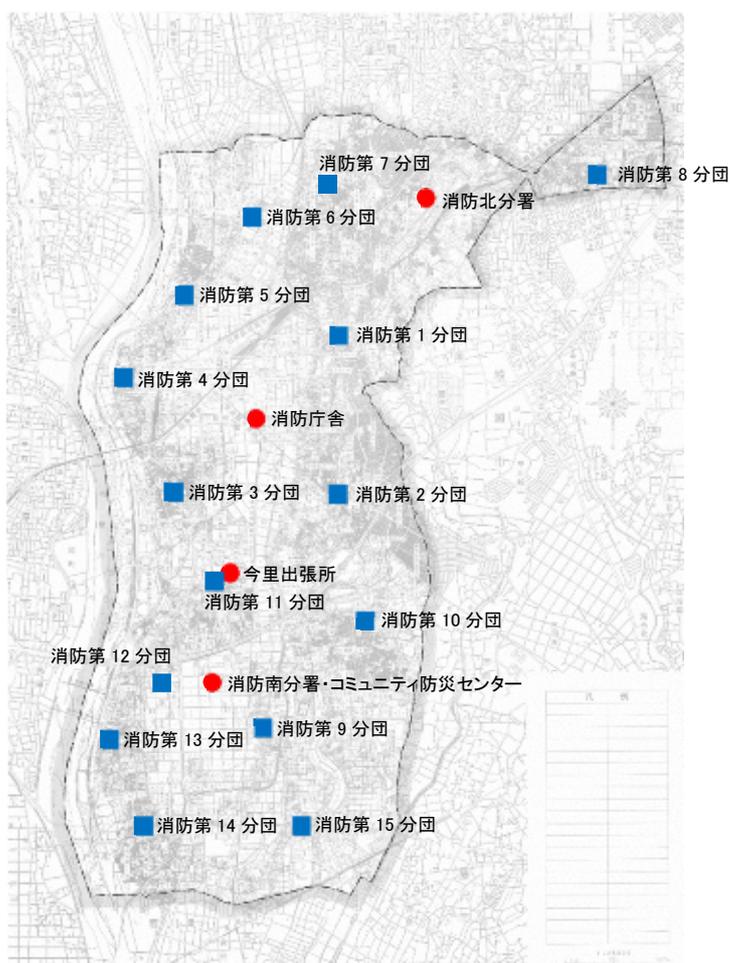


図 3-5 施設位置(消防施設)

表 3-6 施設一覧(消防施設)

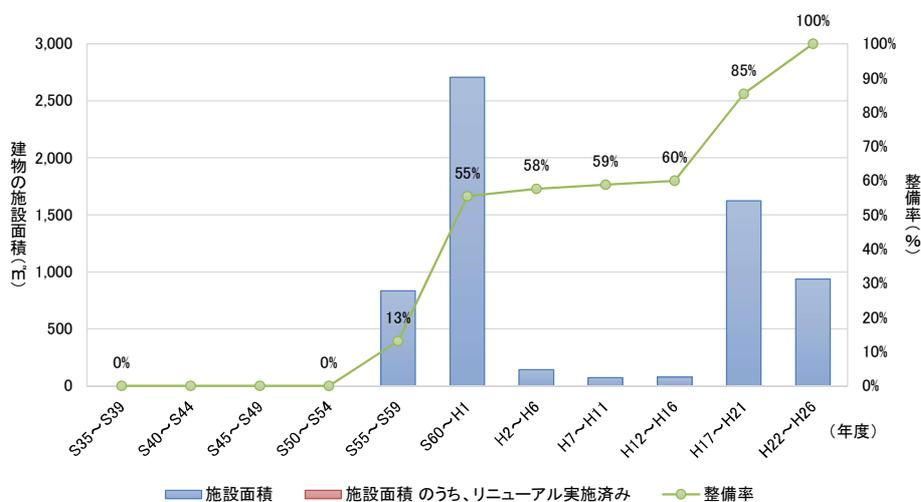
NO	施設名	地域	建設年度	施設面積(m ²)	備考
1	消防庁舎	大谷	S63、H22年度	2,898	本館、増築棟
2	消防北分署	北部	H21年度	1,222	
3	消防南分署	南部	S58年度	751	コミュニティ防災センターを併設
4	今里出張所兼今里給油施設	南部	H24年度	205	
5	消防第1分団	国分	H18年度	99	
6	消防第2分団	大谷	H21年度	100	
7	消防第3分団	海西	H3年度	73	
8	消防第4分団	海西	S63年度	69	
9	消防第5分団	海西	S62年度	69	
10	消防第6分団	海西	H1年度	69	
11	消防第7分団	北部	H8年度	73	
12	消防第8分団	東柏ヶ谷	H3年度	67	
13	消防第9分団	南部	S63年度	69	
14	消防第10分団	南部	H23年度	101	
15	消防第11分団	南部	S61年度	67	
16	消防第12分団	南部	H16年度	77	
17	消防第13分団	南部	H19年度	102	
18	消防第14分団	南部	H24年度	99	
19	消防第15分団	南部	H21年度	100	
20	コミュニティ防災センター	南部	S58年度	83	消防南分署内に設置
合計				6,393	

※ 施設一覧に記載されているのは「建物の建設年度」であり、「施設の開設年度」とは異なる場合がある。

(2) 建物状況

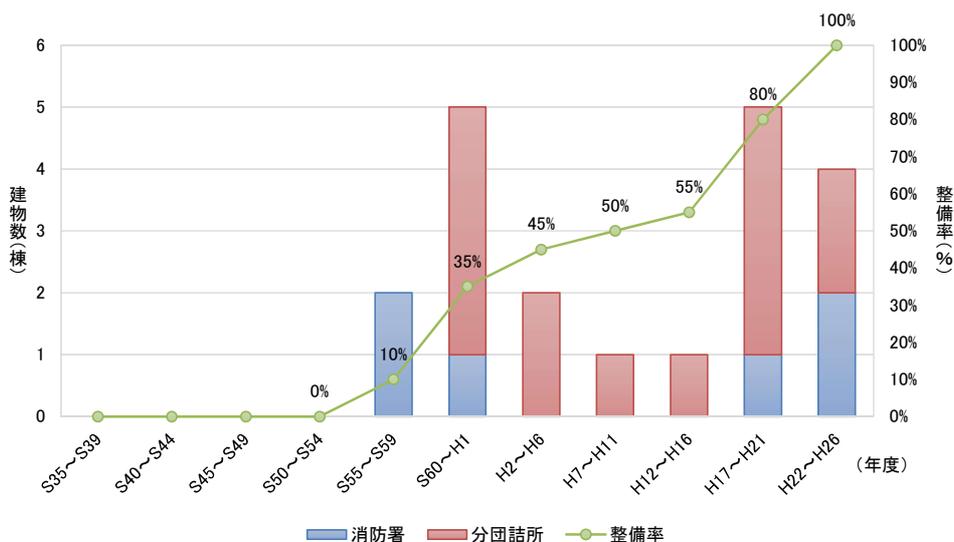
消防施設に関しては、平成に入ってから建設された建物が多く、平成 21 年度には北分署が移転整備され、平成 22 年度には消防庁舎の増築が行われています。最も古い建物は、昭和 58 年度に建設された消防南分署となっています。

施設面積の約 40%に相当する 8 施設が築 10 年以内の新しい建物ですが、今後、改修や更新が集中しないよう計画的な対応が必要になります。



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-6 建設年度別・建物の施設面積(消防施設)



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-7 建設年度別・建物の棟数(消防施設)

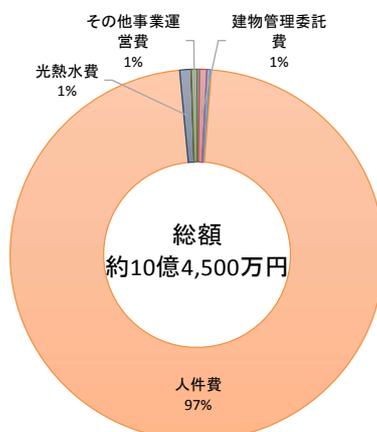
表 3-7 建物一覧(消防施設)

NO	施設名	建物名	建設年度	構造形式	建物の施設面積(m ²)	保有形態
1	消防庁舎	消防庁舎(本館)	S63年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,365	市所有
2		消防庁舎(増築棟)	H22年度	軽量鉄骨造(LGS)	533	市所有
3	消防北分署	消防北分署	H21年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,222	市所有
4	消防南分署	消防南分署	S58年度	鉄骨造(S)	751	市所有
5	今里出張所兼今里給油施設	今里出張所兼今里給油施設	H24年度	鉄筋コンクリート造(RC)	205	市所有
6	消防第1分団	消防第1分団	H18年度	軽量鉄骨造(LGS)	99	市所有
7	消防第2分団	消防第2分団	H21年度	軽量鉄骨造(LGS)	100	市所有
8	消防第3分団	消防第3分団	H3年度	鉄骨造(S)	73	市所有
9	消防第4分団	消防第4分団	S63年度	鉄骨造(S)	69	市所有
10	消防第5分団	消防第5分団	S62年度	鉄骨造(S)	69	市所有
11	消防第6分団	消防第6分団	H1年度	鉄骨造(S)	69	市所有
12	消防第7分団	消防第7分団	H8年度	鉄骨造(S)	73	市所有
13	消防第8分団	消防第8分団	H3年度	鉄骨造(S)	67	市所有
14	消防第9分団	消防第9分団	S63年度	鉄骨造(S)	69	市所有
15	消防第10分団	消防第10分団	H23年度	鉄骨造(S)	101	市所有
16	消防第11分団	消防第11分団	S61年度	鉄骨造(S)	67	市所有
17	消防第12分団	消防第12分団	H16年度	鉄骨造(S)	77	市所有
18	消防第13分団	消防第13分団	H19年度	軽量鉄骨造(LGS)	102	市所有
19	消防第14分団	消防第14分団	H24年度	鉄骨造(S)	99	市所有
20	消防第15分団	消防第15分団	H21年度	軽量鉄骨造(LGS)	100	市所有
21	コミュニティ防災センター	(消防南分署内)	S58年度	鉄骨造(S)	83	市所有
合計					6,393	

※ 建物の施設面積において、「青網掛け」は外装・内装・空調の「全て」を全面的に改修するリニューアルを実施済み、「緑網掛け」は外装・内装・空調の「いずれか」を改修する老朽化対策を実施済みであることを示す。

(3) コスト状況

消防施設の支出は年間 10 億 4,500 万円で、そのほとんどが人件費となっています。



※ 当グラフでは、1%未満の項目は表示しない。

図 3-8 支出の費目別割合(消防施設)

表 3-8 コスト一覧(消防施設)

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設整備 相当額(千円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/㎡)
1	消防庁舎	8,294	755,219	763,513	17,833	781,347	2,862
2	消防北分署	538	136,274	136,812	7,520	144,332	440
3	消防南分署	2,428	135,388	137,817	4,624	142,441	2,909
4	今里出張所兼今里給油施設	0	3,191	3,191	1,259	4,449	0
5	消防第1分団	327	103	430	1,227	1,656	3,269
6	消防第2分団	0	149	149	615	764	0
7	消防第3分団	95	144	239	449	688	1,299
8	消防第4分団	15	137	152	423	576	218
9	消防第5分団	345	142	487	426	912	4,984
10	消防第6分団	61	129	189	424	613	881
11	消防第7分団	16	98	114	449	563	223
12	消防第8分団	22	141	163	412	576	328
13	消防第9分団	47	63	110	426	536	680
14	消防第10分団	701	150	851	623	1,474	6,930
15	消防第11分団	2	137	138	412	551	25
16	消防第12分団	16	159	175	1,084	1,259	212
17	消防第13分団	5	129	134	625	759	49
18	消防第14分団	0	107	107	611	718	0
19	消防第15分団	78	145	224	614	838	785
20	コミュニティ防災センター	-	-	-	512	512	-
合計		12,990	1,032,006	1,044,995	40,567	1,085,563	1,373

- ※ 消防庁舎および分署の維持管理費の中には、3施設で一括契約しているものがあるため、維持管理費は各施設の正確な経費を表すものではない。
- ※ 消防南分署の経費には、併設するコミュニティ防災センターの経費も含まれており、南分署の面積あたり維持管理費についても両施設の合計面積あたりで算出している。
- ※ 面積あたり維持管理費は、施設面積の少数点以下を含めて計算しているため、本書の表中に記載されている数値に基づく算出値と異なる場合がある。
- ※ 面積あたり維持管理費の合計値欄には、全施設（「-」の施設を除く）の平均値を記述する。

(4) まとめ

【消防施設】

- 消防施設に関しては、平成に入ってから更新整備された建物が多く、最も古い消防南分署でも昭和 58 年度の建設となっています。
- 施設面積の約 40%に相当する 8 施設が築 10 年以内の新しい建物ですが、今後、改修や更新が集中しないよう計画的な対応が必要になります。

3. 学校教育施設

(1) サービス状況

ア. 施設の目的・機能

本市には公立学校が、小学校 13 校、中学校 6 校の全 19 校あります。また、給食センターを再編して、学校給食の調理・配食だけではなく、食育推進の拠点となる「食の創造館」も設置されています。

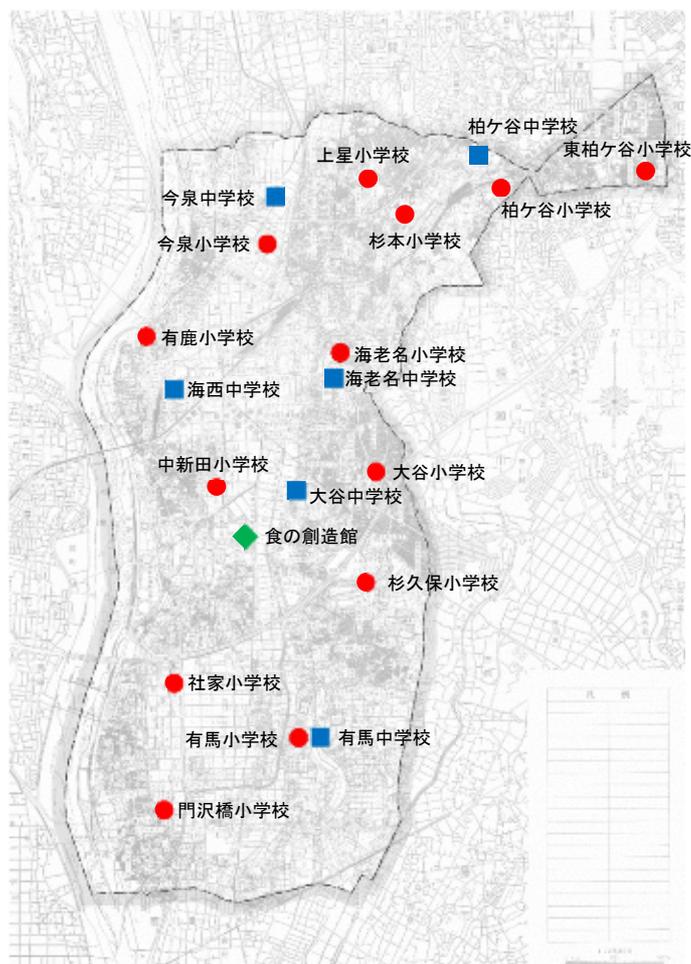


図 3-9 施設位置(学校教育施設)

表 3-9 施設一覧(学校教育施設)

NO	施設名	地域	建設年度	施設面積(m ²)	備考
1	東柏ヶ谷小学校	東柏ヶ谷	S49～H19年度	6,347	全3棟
2	柏ヶ谷小学校	北部	S39～H4年度	5,423	全5棟
3	上星小学校	北部	S45～55年度	6,553	全4棟
4	今泉小学校	北部	S55～H8年度	6,938	全4棟
5	有鹿小学校	海西	S42～H16年度	5,332	全5棟
6	中新田小学校	海西	S47～55年度	5,302	全4棟
7	海老名小学校	国分	S52～H15年度	7,063	全4棟
8	杉本小学校	国分	S57～58年度	5,270	全3棟
9	大谷小学校	大谷	S43～55年度	5,991	全5棟
10	有馬小学校	南部	S47～H6年度	4,941	全3棟
11	門沢橋小学校	南部	S49～54年度	4,161	全3棟
12	社家小学校	南部	S52～H7年度	4,445	全3棟
13	杉久保小学校	南部	S54～57年度	6,103	全4棟
14	柏ヶ谷中学校	北部	S53～H3年度	6,894	全4棟
15	今泉中学校	北部	S58～59年度	6,552	全4棟
16	海西中学校	海西	S49～H3年度	6,424	全5棟
17	海老名中学校	国分	S43～58年度	7,974	全6棟
18	大谷中学校	大谷	S55年度	6,509	全4棟
19	有馬中学校	南部	S45～H4年度	6,840	全4棟
20	食の創造館	海西	H24年度	3,484	
合計				118,546	

※ 施設一覧に記載されているのは「建物の建設年度」であり、「施設の開設年度」とは異なる場合がある。

イ. 貸室の保有状況

本市における小・中学校には必ず屋内運動場が備わっており、スポーツ施設として市民に開放されています。

また、生涯学習や地域活動の拠点として、7校が教室などの開放を行っています。他校においても、夜間や週末は市民に対して、屋内運動場や教室、実習室などを開放することが期待されます。

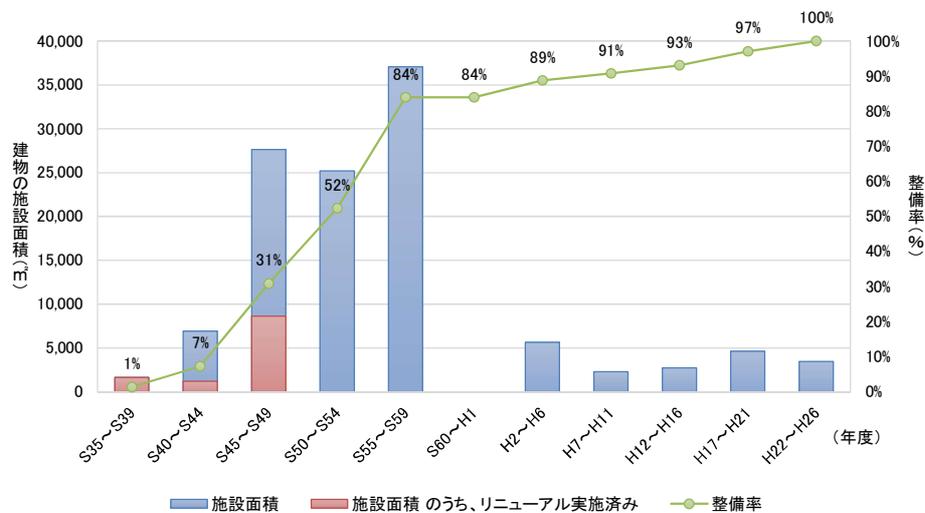
表 3-10 貸室の保有状況(学校教育施設)

NO	施設名	分類	貸室名
1	東柏ヶ谷小学校	会議室(汎用・洋室)	ランチルーム
			音楽室
			特別活動室
		スポーツ施設	屋内運動場
2	柏ヶ谷小学校	会議室(汎用・洋室)	多目的室
			屋内運動場
3	上屋小学校	会議室(汎用・洋室)	特別活動室
			屋内運動場
4	今泉小学校	スポーツ施設	屋内運動場
5	有鹿小学校	会議室(汎用・洋室)	ブレイルーム
			木工室
			屋内運動場
6	中新田小学校	スポーツ施設	屋内運動場
7	杉本小学校	スポーツ施設	屋内運動場
8	大谷小学校	スポーツ施設	屋内運動場
9	有馬小学校	スポーツ施設	屋内運動場
10	門沢橋小学校	スポーツ施設	屋内運動場
11	海老名小学校	会議室(汎用・洋室)	音楽室
			図工室
			屋内運動場
12	社家小学校	会議室(汎用・洋室)	家庭科室
			屋内運動場
13	杉久保小学校	スポーツ施設	屋内運動場
14	柏ヶ谷中学校	スポーツ施設	屋内運動場
15	今泉中学校	会議室(汎用・洋室)	視聴覚室
			屋内運動場
16	海西中学校	スポーツ施設	屋内運動場
17	海老名中学校	スポーツ施設	屋内運動場
18	大谷中学校	スポーツ施設	屋内運動場
19	有馬中学校	スポーツ施設	屋内運動場
20	食の創造館	会議室(汎用・洋室)	会議室
		実習室(特定用途)	調理実習室

(2) 建物状況

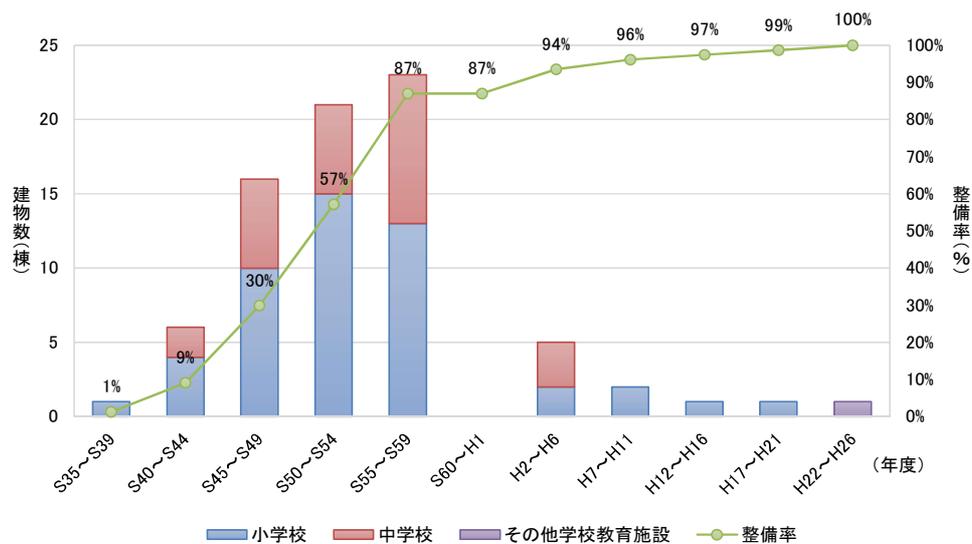
学校施設では、建設後約 41 年以上経過した建物が約 30%、30 年以上経過した建物が約 84%を占めていますが、工事の実施期間が夏休みに限られるためリニューアル工事の実施が難しく、老朽化対策工事を計画的に実施することで対処しています。

所有形態に関しては、有鹿小学校の東館がリースで調達されており、今後、短期的に生徒数の増加が見込まれる場合には、リースにより期限を区切って教室を確保することも検討の余地があります。



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-10 建設年度別・建物の施設面積(学校教育施設)



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-11 建設年度別・建物の棟数(学校教育施設)

表 3-11 建物一覧①(学校教育施設)

NO	施設名	建物名	建設年度	構造形式	建物の施設面積(m ²)	保有形態
1	東柏ヶ谷小学校	東柏ヶ谷小学校(校舎1)(北棟)	S49年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,016	市所有
2		東柏ヶ谷小学校(校舎2)(南棟・給食室含む)	H19年度	鉄筋コンクリート造(RC)	4,641	市所有
3		東柏ヶ谷小学校(屋内運動場・プール)	S53年度	鉄筋コンクリート造(RC)	690	市所有
4	柏ヶ谷小学校	柏ヶ谷小学校(校舎1)(南棟)	S39年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,632	市所有
5		柏ヶ谷小学校(校舎2)(北棟1)	S42年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,234	市所有
6		柏ヶ谷小学校(校舎3)(北棟2)	S46年度	鉄筋コンクリート造(RC)	804	市所有
7		柏ヶ谷小学校(校舎4)(中棟)	H4年度	鉄筋コンクリート造(RC)	950	市所有
8		柏ヶ谷小学校(屋内運動場)	S48年度	鉄骨造(S)	803	市所有
9	上星小学校	上星小学校(校舎1)(1館)	S45年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,398	市所有
10		上星小学校(校舎2)(2館)	S49年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,754	市所有
11		上星小学校(校舎3)(3館)	S55年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,662	市所有
12		上星小学校(屋内運動場)	S52年度	鉄骨造(S)	739	市所有
13	今泉小学校	今泉小学校(校舎1)(A棟・北側)	S55年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,626	市所有
14		今泉小学校(校舎2)(B棟・南東側)	S55年度	鉄筋コンクリート造(RC)	3,468	市所有
15		今泉小学校(校舎3)(C棟・南西側)	H8年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,105	市所有
16		今泉小学校(屋内運動場)	S56年度	鉄骨造(S)	739	市所有
17	有鹿小学校	有鹿小学校(校舎1)(本館東側)	S42年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,343	市所有
18		有鹿小学校(校舎2)(本館西側)	S49年度	鉄筋コンクリート造(RC)	911	市所有
19		有鹿小学校(校舎3)(西館)	S54年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,051	市所有
20		有鹿小学校(屋内運動場)	S56年度	鉄骨造(S)	716	市所有
21		有鹿小学校(校舎4)(東館)	H16年度	鉄骨造(S)	1,311	リース
22	中新田小学校	中新田小学校(校舎1)(西棟)	S47年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,257	市所有
23		中新田小学校(校舎2)(東棟中央)	S52年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,652	市所有
24		中新田小学校(校舎3)(東棟東側)	S55年度	鉄筋コンクリート造(RC)	654	市所有
25		中新田小学校(屋内運動場)	S52年度	鉄骨造(S)	739	市所有
26	海老名小学校	海老名小学校(校舎1)(西棟)	H15年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,726	市所有
27		海老名小学校(校舎2)(東棟)	S52年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,475	市所有
28		海老名小学校(校舎3)(北棟)	S53年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,089	市所有
29		海老名小学校(屋内運動場・プール)	S54年度	鉄筋コンクリート造(RC)	773	市所有

※ 建物の施設面積において、「青網掛け」は外装・内装・空調の「全て」を全面的に改修するリニューアルを実施済み、「緑網掛け」は外装・内装・空調の「いずれか」を改修する老朽化対策を実施済みであることを示す。

表 3-12 建設一覧②(学校教育施設)

NO	施設名	建物名	建設年度	構造形式	建物の施設面積(m ²)	保有形態
30	杉本小学校	杉本小学校(校舎1)(1館)	S58年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,297	市所有
31		杉本小学校(校舎2)(2館)	S58年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,235	市所有
32		杉本小学校(屋内運動場)	S57年度	鉄骨造(S)	738	市所有
33	大谷小学校	大谷小学校(校舎1)(南棟東側)	S43年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,512	市所有
34		大谷小学校(校舎2)(南棟西側)	S44年度	鉄筋コンクリート造(RC)	915	市所有
35		大谷小学校(校舎3)(北棟西側)	S48年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,734	市所有
36		大谷小学校(校舎4)(北棟東側)	S55年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,110	市所有
37		大谷小学校(屋内運動場)	S51年度	鉄骨造(S)	720	市所有
38	有馬小学校	有馬小学校(校舎1)(中央棟・東棟)	S47年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,928	市所有
39		有馬小学校(校舎2)(西棟)	H6年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,070	市所有
40		有馬小学校(屋内運動場)	S54年度	鉄筋コンクリート造(RC)	943	市所有
41	門沢橋小学校	門沢橋小学校(校舎1)(1棟)	S49年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,262	市所有
42		門沢橋小学校(校舎2)(2棟)	S54年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,160	市所有
43		門沢橋小学校(屋内運動場)	S53年度	鉄骨造(S)	739	市所有
44	社家小学校	社家小学校(校舎1)(本館)	S52年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,551	市所有
45		社家小学校(校舎2)(新館)	H7年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,194	市所有
46		社家小学校(屋内運動場)	S53年度	鉄骨造(S)	700	市所有
47	杉久保小学校	杉久保小学校(校舎1)(管理教室棟・東側校舎)	S55年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,300	市所有
48		杉久保小学校(校舎2)(普通教室棟・中央校舎)	S55年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,621	市所有
49		杉久保小学校(校舎3)(普通教室棟・西側校舎)	S57年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,449	市所有
50		杉久保小学校(屋内運動場)	S54年度	鉄骨造(S)	733	市所有
51	柏ヶ谷中学校	柏ヶ谷中学校(校舎1)(西棟)	S53年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,832	市所有
52		柏ヶ谷中学校(校舎2)(北棟)	S53年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,636	市所有
53		柏ヶ谷中学校(校舎3)(南棟)	H3年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,600	市所有
54		柏ヶ谷中学校(屋内運動場)	S54年度	鉄骨造(S)	826	市所有
55	今泉中学校	今泉中学校(校舎1)(A棟)	S58年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,835	市所有
56		今泉中学校(校舎2)(B棟)	S58年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,112	市所有
57		今泉中学校(校舎3)(C棟)	S58年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,504	市所有
58		今泉中学校(屋内運動場)	S59年度	鉄骨造(S)	1,101	市所有
59	海西中学校	海西中学校(校舎1)(1棟西側)	S49年度	鉄筋コンクリート造(RC)	3,009	市所有
60		海西中学校(校舎2)(1棟東側)	S49年度	鉄骨造(S)	155	市所有
61		海西中学校(校舎3)(2棟東側)	S55年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,182	市所有
62		海西中学校(校舎4)(2棟西側)	H3年度	軽量鉄骨造(LGS)	255	市所有
63		海西中学校(屋内運動場)	S51年度	鉄骨造(S)	823	市所有

※ 建物の施設面積において、「青網掛け」は外装・内装・空調の「全て」を全面的に改修するリニューアルを実施済み、「緑網掛け」は外装・内装・空調の「いずれか」を改修する老朽化対策を実施済みであることを示す。

表 3-13 建設一覧③(学校教育施設)

NO	施設名	建物名	建設年度	構造形式	建物の施設面積(m ²)	保有形態
64	海老名中学校	海老名中学校(校舎1)(1棟西側)	S43年度	鉄筋コンクリート造(RC)	905	市所有
65		海老名中学校(校舎2)(1棟東側)	S44年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,000	市所有
66		海老名中学校(校舎3)(2棟西側)	S45年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,527	市所有
67		海老名中学校(校舎4)(2棟東側)	S46年度	鉄筋コンクリート造(RC)	731	市所有
68		海老名中学校(校舎5)(3棟)	S47年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,600	市所有
69		海老名中学校(屋内運動場)	S58年度	鉄骨造(S)	1,211	市所有
70	大谷中学校	大谷中学校(校舎1)(西棟)	S55年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,363	市所有
71		大谷中学校(校舎2)(中央棟)	S55年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,587	市所有
72		大谷中学校(校舎3)(東棟)	S55年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,741	市所有
73		大谷中学校(屋内運動場)	S55年度	鉄骨造(S)	818	市所有
74	有馬中学校	有馬中学校(校舎1)(A棟・中央)	S45年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,739	市所有
75		有馬中学校(校舎2)(B棟・東側)	S53年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,390	市所有
76		有馬中学校(校舎3)(C棟・西側)	H4年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,767	市所有
77		有馬中学校(屋内運動場)	S50年度	鉄筋コンクリート造(RC)	944	市所有
78	食の創造館	食の創造館	H24年度	鉄骨造(S)	3,484	市所有
合計					118,546	

※ 建物の施設面積において、「青網掛け」は外装・内装・空調の「全て」を全面的に改修するリニューアルを実施済み、「緑網掛け」は外装・内装・空調の「いずれか」を改修する老朽化対策を実施済みであることを示す。

(3) 管理運営状況

学校教育施設は、すべて直営で運営されています。

食の創造館については、小中学校とはサービスが異なることから、指定管理者制度を導入し、管理運営における民間活用の拡大を図ります。

表 3-14 管理運営状況一覧(学校教育施設)

NO	施設名	管理運営の形態	平日開館状況		休日開館状況		備考
			開館の有無	平日の開館時間	開館の有無	休日の開館時間	
1	食の創造館	直営	○	8時00分～21時00分	○	8時00分～21時00分	第3日曜日(定期休館日)

※ 各小・中学校には決められた開館時間帯はない。

(4) 利用状況

学校の児童・生徒数について3カ年の推移を見ると、鉄道が通る北東部・南西部は増加傾向、北西部・南東部は減少傾向となっており、人口動向に地域差が見られます。

児童・生徒一人あたりの施設面積を見ると平均⁶で10.7㎡/人となっています。学校別の状況では、海老名中学校は17.7㎡/人と最も高く、一方、大谷小学校、門沢橋小学校は、それぞれ9.6㎡/人、8.3㎡/人と平均を下回っています。

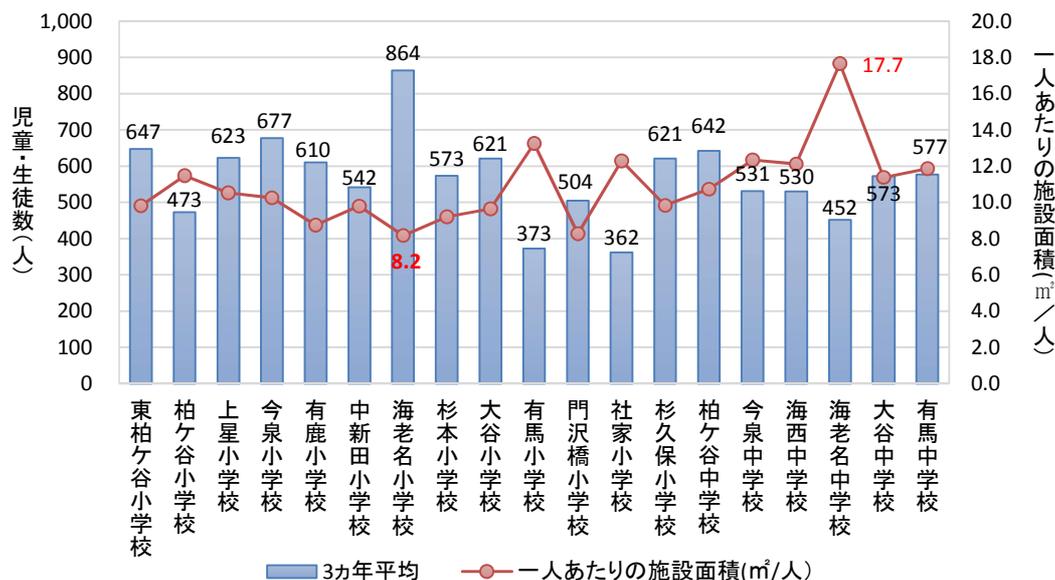
施設面積という数字から見ると相対的に受入れ余地がある地域もありますが、近年の学校教育では、少人数学級、少人数指導といった指導方法の多様化に伴い、学校運営に必要とされる教室の数が増加しているため、全体として教室数は不足傾向にあり、特に小学校では受入れ余地が限られている状況です。

地域別の将来人口推計を見ても、急激な人口減少が見込まれる大谷地域に対し、国分地域は今後15年程度人口増加が見込まれるなど、地域による状況の違いが見込まれ、児童・生徒数と施設規模のアンバランスは今後も拡大すると見込まれます。

表 3-15 児童・生徒数一覧(学校教育施設)

NO	施設名	地域	施設面積 (㎡)	利用指標		児童・生徒数				増減の傾向			一人あたりの施設面積 (㎡/人)		
						指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度	3カ年平均	増加		なし	減少
1	東柏ヶ谷小学校	東柏ヶ谷	6,347	児童数	人	661	639	641	647		↑↓		9.8		
2	柏ヶ谷小学校	北部	5,423	児童数	人	470	473	475	473	↑			11.5		
3	上星小学校	北部	6,553	児童数	人	621	614	633	623		↑↓		10.5		
4	今泉小学校	北部	6,938	児童数	人	682	677	673	677			↓	10.2		
5	有鹿小学校	海西	5,332	児童数	人	631	610	590	610			↓	8.7		
6	中新田小学校	海西	5,302	児童数	人	543	547	535	542		↑↓		9.8		
7	海老名小学校	国分	7,063	児童数	人	875	852	866	864		↑↓		8.2		
8	杉本小学校	国分	5,270	児童数	人	531	586	603	573	↑			9.2		
9	大谷小学校	大谷	5,991	児童数	人	609	627	628	621	↑			9.6		
10	有馬小学校	南部	4,941	児童数	人	384	378	356	373			↓	13.3		
11	門沢橋小学校	南部	4,161	児童数	人	485	505	521	504	↑			8.3		
12	社家小学校	南部	4,445	児童数	人	356	365	365	362		↑↓		12.3		
13	杉久保小学校	南部	6,103	児童数	人	631	621	610	621			↓	9.8		
14	柏ヶ谷中学校	北部	6,894	生徒数	人	617	654	656	642	↑			10.7		
15	今泉中学校	北部	6,552	生徒数	人	521	531	542	531	↑			12.3		
16	海西中学校	海西	6,424	生徒数	人	502	532	556	530	↑			12.1		
17	海老名中学校	国分	7,974	生徒数	人	421	447	487	452	↑			17.7		
18	大谷中学校	大谷	6,509	生徒数	人	582	571	565	573			↓	11.4		
19	有馬中学校	南部	6,840	生徒数	人	565	588	578	577		↑↓		11.9		
20	食の創造館	海西	3,484	利用者数	人	-	-	1,046	1,046		↑↓		3.3		

⁶食の創造館は集計対象から対象外とする。



※ 当グラフでは食の創造館は記載しない。

図 3-12 児童・生徒数(3カ年平均)と一人あたりの面積の推移(学校教育施設)

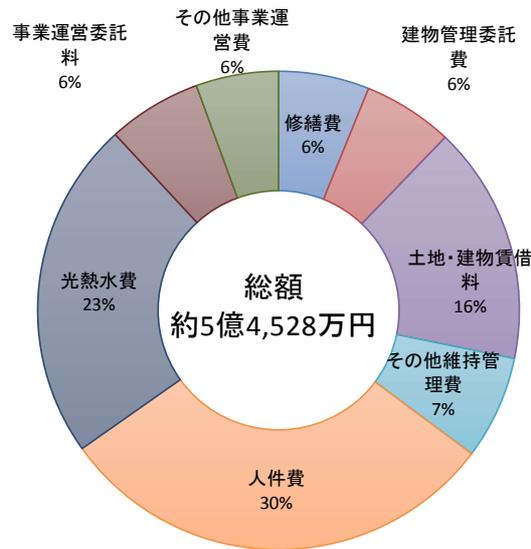
(5) コスト状況

学校施設の支出⁷は、年間 5 億 4,528 万円 となっています。内訳を見ると、人件費が約 30%と最も多く、次に光熱水費が約 23%となっており、事業運営費が全体の約 65%を占めています。

また、施設別のコスト一覧を見ると、東柏ヶ谷小学校は学校内に給食調理室を有しているため、他の小学校と比べ維持管理費・事業運営費とも大きくなっています。

また、有鹿小学校については土地・建物賃借料、海老名小学校、海老名中学校については、土地賃借料が発生しているため、面積あたり維持管理費が大きくなっています。

⁷ 学校教育施設には、施設ごとではなく一括して支出(維持管理費、事業運営費)が計上されている品目がある。本書では、「学校施設計上費」として分類し、各維持管理費、事業運営費を算出する。なお、これは施設ではないため年あたりの施設整備相当額、面積あたりの維持管理費は計算の対象外とする。



※ 当グラフでは、1%未満の項目は表示しない。

図 3-13 支出の費目別割合 (学校教育施設)

表 3-16 コスト一覧 (学校教育施設)

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設整備 相当額(千円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/m ²)
1	東柏ヶ谷小学校	2,036	18,050	20,087	32,223	52,310	321
2	柏ヶ谷小学校	437	11,631	12,069	27,532	39,601	81
3	上星小学校	426	11,405	11,830	33,269	45,099	65
4	今泉小学校	373	11,981	12,353	31,472	43,825	60
5	有鹿小学校	22,366	11,499	33,866	20,414	54,280	4,195
6	中新田小学校	430	11,017	11,447	26,918	38,365	81
7	海老名小学校	10,013	14,051	24,064	35,858	59,923	1,418
8	杉本小学校	414	11,618	12,032	30,507	42,540	69
9	大谷小学校	338	18,612	18,950	30,416	49,366	56
10	有馬小学校	359	12,955	13,314	25,085	38,399	73
11	門沢橋小学校	384	18,322	18,705	21,125	39,830	92
12	社家小学校	293	11,044	11,336	22,567	33,903	66
13	杉久保小学校	412	18,037	18,449	30,984	49,433	68
14	柏ヶ谷中学校	476	17,655	18,131	35,000	53,131	69
15	今泉中学校	571	13,793	14,363	33,264	47,627	87
16	海西中学校	587	12,913	13,500	32,614	46,114	91
17	海老名中学校	2,487	14,304	16,791	40,483	57,275	312
18	大谷中学校	548	20,522	21,070	33,046	54,116	84
19	有馬中学校	624	25,775	26,399	34,726	61,125	91
20	食の創造館	140	49,727	49,867	17,689	67,556	40
21	学校施設設計上費	148,346	18,314	166,660	-	-	-
合計		192,058	353,225	545,284	595,194	973,818	371

※ 有鹿小学校の年あたり施設整備相当額の算出にあたっては、民間が保有するリース建物の面積を除外している。
 ※ 面積あたり維持管理費は、施設面積の少数点以下を含めて計算しているため、本書の表中に記載されている数値に基づく算出値と異なる場合がある。
 ※ 面積あたり維持管理費の合計値欄には、全施設の平均値 (学校施設設計上費を除く) を記述する。

(6) まとめ

【小学校・中学校】

- 学校施設の 8 割以上が昭和 45 年度から昭和 59 年度までに建設されています。
- 建設後 30 年あるいは 40 年以上経過した建物が 8 割以上となっていますが、リニューアル工事・老朽化対策工事を計画的に実施しています。
- 一人あたりの施設面積を見ると、児童・生徒数と建物規模のアンバランスが生じており、将来的に学区再編などにより解消を図る必要があります。また、一時的な児童・生徒数の増加に効率的に対応する手法として、リースにより短期的に教室を確保することも考えられます。
- 学校施設は防災拠点（避難所）に指定されている施設が多いことから、今後もリニューアル工事・老朽化対策工事などの施設更新などを引き続き計画的に行う必要があります。

【食の創造館】

- 現在、直営で運営されていますが、小中学校とはサービスが異なることから、指定管理者制度を導入し、管理運営における民間活用の拡大を図ります。

4. 地域コミュニティ施設

(1) サービス状況

ア. 施設の目的・機能

本市の地域コミュニティ施設は、市内に13施設が設置されています。

地域における福祉の増進と文化の向上に寄与することを目的とした「コミュニティセンター」が10施設、コミュニティセンターより規模の小さい「文化センター」が2施設設置されています。また、市民活動を支援するため、平成24年度に「市民活動センター」が建設されました。

これらの地域コミュニティ施設は小学校区程度の地区ごとに設置されており、おおむね1.5km、約25分で歩ける距離で配置されています。

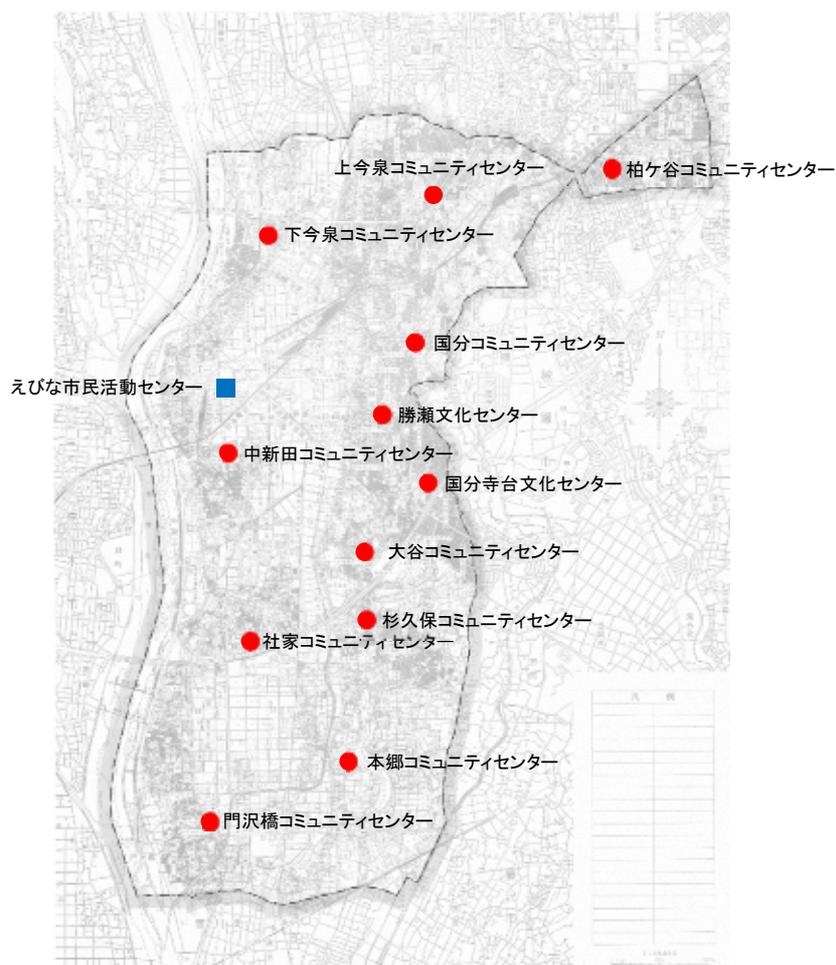


図 3-14 施設位置(コミュニティ施設)

表 3-17 施設一覧(コミュニティ施設)

NO	施設名	地域	建設年度	施設面積(m ²)	備考
1	えびな市民活動センター	海西	H24、26年度	7,969	交流館、レクリエーション館
2	柏ヶ谷コミュニティセンター	東柏ヶ谷	S61年度	1,456	柏ヶ谷保育園を併設
3	上今泉コミュニティセンター	北部	H3年度	1,120	
4	中新田コミュニティセンター	海西	S63年度	1,179	
5	下今泉コミュニティセンター	海西	H8年度	1,275	
6	国分コミュニティセンター	国分	H4年度	1,377	
7	大谷コミュニティセンター	大谷	S63年度	1,174	
8	杉久保コミュニティセンター	南部	H5年度	1,158	
9	本郷コミュニティセンター	南部	H6年度	1,179	
10	門沢橋コミュニティセンター	南部	H6年度	1,285	
11	社家コミュニティセンター	南部	H7年度	1,360	
12	勝瀬文化センター	国分	H2年度	703	
13	国分寺台文化センター	大谷	H10年度	599	国分寺台ケアセンターを併設
合計				21,833	

※ 施設一覧に記載されているのは「建物の建設年度」であり、「施設の開設年度」とは異なる場合がある。

イ. 貸室の保有状況

各地区のコミュニティセンター・文化センターの施設構成はおおむね共通しており、会議室、和室、実習室、レクリエーション室が備わっています。

また、市民活動の拠点施設であるえびな市民活動センター（交流館）に関しては、可動式の客席を有したホールと会議室 10 室などが備わっており、施設の規模や貸室の数を活かして、様々な市民活動を行うことができます。

表 3-18 貸室の保有状況①(コミュニティ施設)

NO	施設名	分類	貸室名
1	えびな市民活動センター(交流館)	ホール(可動席)	ホール
			ホール+フリースペース
			ホール+フリースペース+楽屋
		会議室(汎用・洋室)	201会議室
			202会議室
			203会議室
			204会議室
			301会議室
			302会議室
			303会議室
			304会議室
305会議室			
306会議室			
和室	和室		
実習室(特定用途)	実習室 調理室		
2	柏ヶ谷コミュニティセンター	会議室(汎用・洋室)	会議室
		和室	集会室
			休養室
			談話室
		実習室(特定用途)	実習室
		スポーツ施設	レクリエーション室
その他	学習室		
3	上今泉コミュニティセンター	会議室(汎用・洋室)	会議室
		和室	休養室
			集会室
		実習室(特定用途)	実習室
スポーツ施設	レクリエーション室		
4	中新田コミュニティセンター	会議室(汎用・洋室)	会議室
		実習室(特定用途)	実習室
			音楽室
		その他	学習室 集会室
5	下今泉コミュニティセンター	会議室(汎用・洋室)	会議室
		和室	集会室
			休養室
		実習室(特定用途)	実習室
			音楽室
スポーツ施設	レクリエーション室		

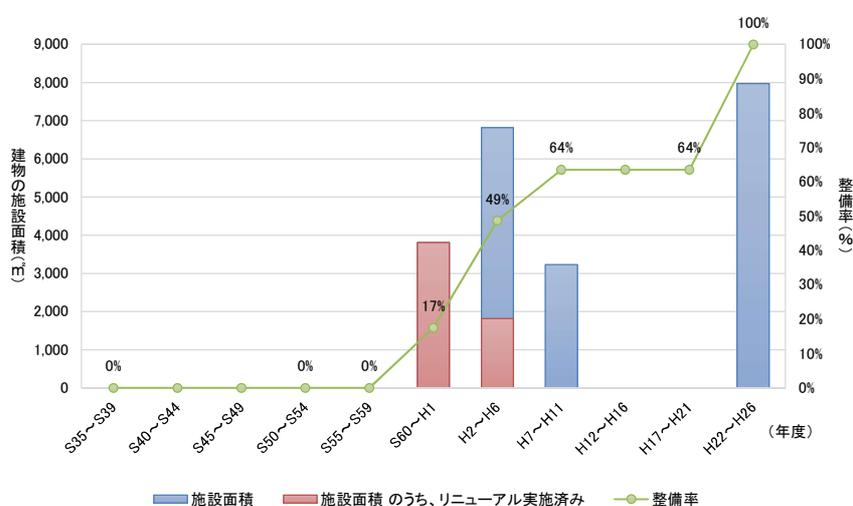
表 3-19 貸室の保有状況②(コミュニティ施設)

NO	施設名	分類	貸室名
6	国分コミュニティセンター	会議室(汎用・洋室)	会議室
		和室	休養室
		実習室(特定用途)	実習室 音楽室
		スポーツ施設	レクリエーション室
		その他	集会室
7	大谷コミュニティセンター	会議室(汎用・洋室)	会議室
		和室	休養室
		実習室(特定用途)	実習室
		スポーツ施設	レクリエーション室
		その他	集会室 多目的室
8	杉久保コミュニティセンター	会議室(汎用・洋室)	会議室
		和室	集会室
		実習室(特定用途)	実習室 音楽室
		スポーツ施設	レクリエーション室
9	本郷コミュニティセンター	会議室(汎用・洋室)	会議室
		和室	集会室
		実習室(特定用途)	実習室
		スポーツ施設	レクリエーション室
		その他	学習室
10	門沢橋コミュニティセンター	会議室(汎用・洋室)	会議室
		和室	集会室
		実習室(特定用途)	実習室
		スポーツ施設	レクリエーション室
		その他	学習室
11	社家コミュニティセンター	会議室(汎用・洋室)	会議室
		和室	集会室
		実習室(特定用途)	実習室
		スポーツ施設	レクリエーション室
		その他	学習室
12	勝瀬文化センター	会議室(汎用・洋室)	会議室
		和室	教養室
		実習室(特定用途)	調理室
		その他	集会室 遊戯室
13	国分寺台文化センター	和室	休養室
		その他	集会室 学習室

(2) 建物状況

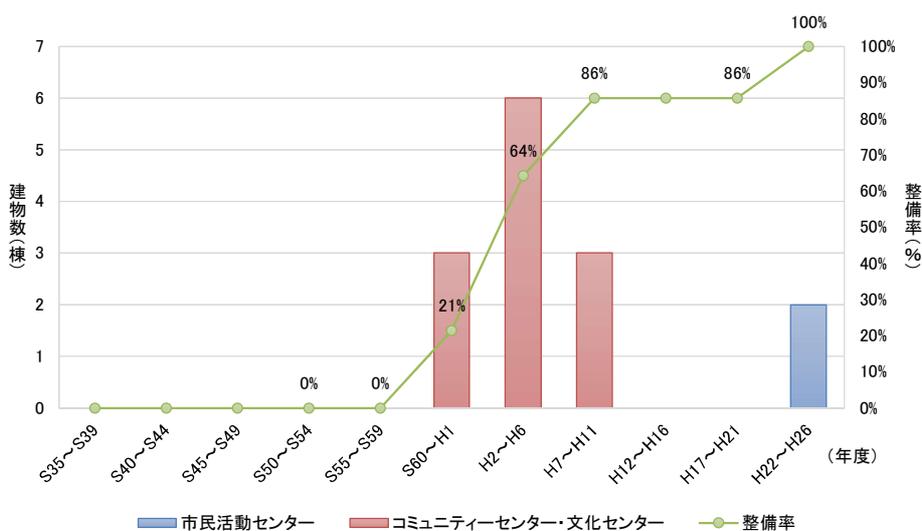
地域コミュニティ施設に関しては、平成に入ってから建設された建物が多く、最も古い柏ヶ谷コミュニティセンターで、昭和 61 年度の建設となっています。

建設後 25 年以上経過した 3 つの施設のほか、平成 2 年度及び平成 3 年度に建設された 2 つの施設についてもリニューアル工事が行われています。今後、リニューアル工事が行われていない他の施設についても老朽化に伴う問題が増えてくると見込まれますが、平成 4 年度から 9 年度までにかけて 7 つの施設が集中的に整備されているため、工事の時期が重ならないように計画的に対応していく必要があります。



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-15 建設年度別・建物の施設面積(コミュニティ施設)



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-16 建設年度別・建物の棟数(コミュニティ施設)

表 3-20 建物一覧(コミュニティ施設)

NO	施設名	建物名	建設年度	構造形式	建物の施設面積(m ²)	保有形態
1	えびな市民活動センター	えびな市民活動センター(交流館)	H24年度	鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)	2,960	市所有
2		えびな市民活動センター(レクリエーション館)	H26年度	鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)	5,009	市所有
3	柏ヶ谷コミュニティセンター	柏ヶ谷コミュニティセンター	S61年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,456	市所有
4	上今泉コミュニティセンター	上今泉コミュニティセンター	H3年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,120	市所有
5	中新田コミュニティセンター	中新田コミュニティセンター	S63年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,179	市所有
6	下今泉コミュニティセンター	下今泉コミュニティセンター	H8年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,275	市所有
7	国分コミュニティセンター	国分コミュニティセンター	H4年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,377	市所有
8	大谷コミュニティセンター	大谷コミュニティセンター	S63年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,174	市所有
9	杉久保コミュニティセンター	杉久保コミュニティセンター	H5年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,158	市所有
10	本郷コミュニティセンター	本郷コミュニティセンター	H6年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,179	市所有
11	門沢橋コミュニティセンター	門沢橋コミュニティセンター	H6年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,285	市所有
12	社家コミュニティセンター	社家コミュニティセンター	H7年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,360	市所有
13	勝瀬文化センター	勝瀬文化センター	H2年度	鉄筋コンクリート造(RC)	703	市所有
14	国分寺台文化センター	国分寺台文化センター	H10年度	鉄筋コンクリート造(RC)	599	市所有
合計					21,833	

※ 建物の施設面積において、「青網掛け」は外装・内装・空調の「全て」を全面的に改修するリニューアルを実施済み、「緑網掛け」は外装・内装・空調の「いずれか」を改修する老朽化対策を実施済みであることを示す。

(3) 管理運営状況

コミュニティセンター・文化センターは、各地域の住民が地域活動に利用する場であることから、各施設の管理運営については、地域の各団体代表による管理運営委員会に委託し、地域の特徴のある運営を実施しています。

各施設の管理運営を管理運営委員会に委託することがサービス向上とコスト削減に向けた有効な方策の一つですが、運営委員会はボランティアで行っていることから負担が大きいとの指摘もあり、今後の管理のあり方について検討が行われています。

なお、えびな市民活動センターについては、平成 26 年 11 月より指定管理者による管理運営に移行します。

また、すべてのコミュニティセンター・文化センターは、月 1 回の定期休館日や年末年始などの休館を除き、平日、週末ともに 21 時 30 分まで開館しており、利用者の利便性に配慮した運営がなされています。

表 3-21 管理運営状況一覧(コミュニティ施設)

NO	施設名	管理運営の形態	平日開館状況		休日開館状況		備考
			開館の有無	平日の開館時間	開館の有無	休日の開館時間	
1	えびな市民活動センター	指定管理者	○	9時00分～22時00分	○	9時00分～22時00分	第2木曜日(定期休館日)
2	柏ヶ谷コミュニティセンター	委託	○	9時30分～21時30分	○	9時30分～21時30分	第1月曜日(定期休館日)
3	上今泉コミュニティセンター	委託	○	9時30分～21時30分	○	9時30分～21時30分	第3月曜日(定期休館日)
4	中新田コミュニティセンター	委託	○	9時30分～21時30分	○	9時30分～21時30分	第2月曜日(定期休館日)
5	下今泉コミュニティセンター	委託	○	9時30分～21時30分	○	9時30分～21時30分	第4火曜日(定期休館日)
6	国分コミュニティセンター	委託	○	9時30分～21時30分	○	9時30分～21時30分	第1火曜日(定期休館日)
7	大谷コミュニティセンター	委託	○	9時30分～21時30分	○	9時30分～21時30分	第2火曜日(定期休館日)
8	杉久保コミュニティセンター	委託	○	9時30分～21時30分	○	9時30分～21時30分	第3月曜日(定期休館日)
9	本郷コミュニティセンター	委託	○	9時30分～21時30分	○	9時30分～21時30分	第3火曜日(定期休館日)
10	門沢橋コミュニティセンター	委託	○	9時30分～21時30分	○	9時30分～21時30分	第2月曜日(定期休館日)
11	社家コミュニティセンター	委託	○	9時30分～21時30分	○	9時30分～21時30分	第1火曜日(定期休館日)
12	勝瀬文化センター	委託	○	9時30分～21時30分	○	9時30分～21時30分	第1月曜日(定期休館日)
13	国分寺台文化センター	委託	○	9時30分～21時30分	○	9時30分～21時30分	第4月曜日(定期休館日)

(4) 利用状況

利用者は平均で 4.0 万人前後となっていますが、利用者の多い施設で約 6 万人以上、利用者が少ない施設では約 3 万人を下回っており、施設により差が生じています。

利用の傾向を見ると、柏ヶ谷コミュニティセンターは増加、国分コミュニティセンター、杉久保コミュニティセンター、門沢橋コミュニティセンターは減少の傾向です。

今後の人口動向を踏まえると、海老名駅西口の土地区画整理により急激な人口増加が見込まれる海西地域や、人口減少・少子高齢化の傾向にある大谷地区など、地域により施設を利用する対象者の変化が考えられるため、利用実態などを踏まえた再編・再配置の検討が必要になると考えられます。

表 3-22 利用状況一覧(コミュニティ施設)

NO	施設名	地域	施設面積 (㎡)	利用指標		利用数				増減の傾向			週あたり 利用者数 (人/週)
						指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度	3カ年平均	増加	
1	えびな市民活動センター	海西	5,920	利用者数	人	-	-	-	-	-	-	-	-
2	柏ヶ谷コミュニティセンター	東柏ヶ谷	1,456	来館者数	人	42,475	46,455	47,819	45,583	↑			877
3	上今泉コミュニティセンター	北部	1,120	来館者数	人	65,173	67,342	57,712	63,409		↑↓		1,219
4	中新田コミュニティセンター	海西	1,179	来館者数	人	44,200	15,342	43,349	43,775		↑↓		842
5	下今泉コミュニティセンター	海西	1,275	来館者数	人	34,395	41,402	38,499	38,099		↑↓		733
6	国分コミュニティセンター	国分	1,377	来館者数	人	61,852	56,614	47,819	55,428			↓	1,066
7	大谷コミュニティセンター	大谷	1,174	来館者数	人	10,101	28,240	26,517	27,379		↑↓		527
8	杉久保コミュニティセンター	南部	1,158	来館者数	人	48,800	44,575	33,346	42,240			↓	812
9	本郷コミュニティセンター	南部	1,179	来館者数	人	34,743	35,740	32,391	34,291		↑↓		659
10	門沢橋コミュニティセンター	南部	1,285	来館者数	人	48,786	47,582	43,438	46,602			↓	896
11	社家コミュニティセンター	南部	1,360	来館者数	人	48,555	50,351	48,138	49,015		↑↓		943
12	勝瀬文化センター	国分	703	来館者数	人	24,988	14,334	20,913	22,951		↑↓		441
13	国分寺台文化センター	大谷	599	来館者数	人	34,882	41,584	33,960	34,421		↑↓		662

※ 週あたり利用者数は、年間利用者数を 52 週で割った値とする。

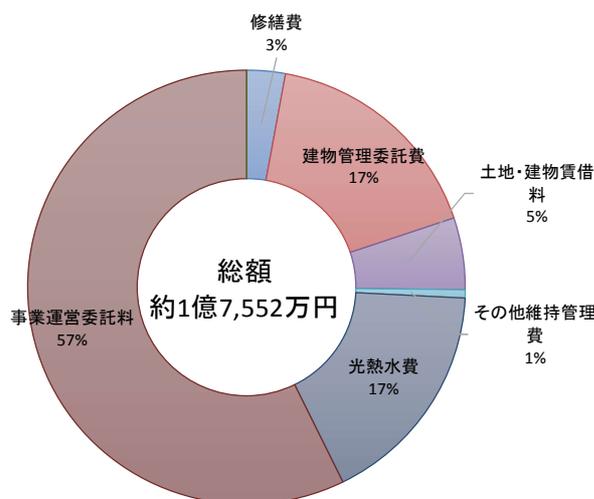
※ えびな市民活動センターは、平成 25 年開館のため、利用数の実績はない。

※ リニューアルを実施した 3 施設（大谷コミュニティセンター（平成 22 年度）、中新田コミュニティセンター（平成 23 年度）、勝瀬コミュニティセンター（平成 23 年度））は、工事期間中は休館し利用者数が例年より少なくなっているため、利用数の平均については工事実施年度を除く 2 カ年で算出している。

(5) コスト状況

地域コミュニティ施設の支出は年間 1 億 7,552 万円となっています。内訳を見ると、事業運営委託料が約 57%と最も多く、次に建物管理委託費・光熱水費が約 17%となっており、事業運営費が支出全体の約 74%を占めています。

施設ごとに見ると、事業運営費については同等の水準ですが、借地をしている施設については維持管理費が多くなっています。



※ 当グラフでは、1%未満の項目は表示しない。

図 3-17 支出の費目別割合(コミュニティ施設)

表 3-23 コスト一覧(コミュニティ施設)

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設 整備相当額(千 円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/m ²)
1	えびな市民活動センター	-	-	-	44,136	44,136	-
2	柏ヶ谷コミュニティセンター	3,203	10,451	13,654	8,063	21,717	2,200
3	上今泉コミュニティセンター	2,691	11,593	14,284	6,201	20,485	2,404
4	中新田コミュニティセンター	2,592	9,638	12,230	6,530	18,760	2,198
5	下今泉コミュニティセンター	3,454	11,222	14,676	7,062	21,738	2,709
6	国分コミュニティセンター	4,085	12,246	16,331	7,627	23,958	2,967
7	大谷コミュニティセンター	3,324	8,580	11,904	6,500	18,404	2,833
8	杉久保コミュニティセンター	7,934	11,219	19,153	6,416	25,569	6,850
9	本郷コミュニティセンター	4,038	11,393	15,431	6,527	21,958	3,427
10	門沢橋コミュニティセンター	5,311	11,215	16,526	7,117	23,643	4,133
11	社家コミュニティセンター	3,182	11,574	14,756	7,532	22,288	2,339
12	勝瀬文化センター	2,064	8,407	10,471	3,896	14,367	2,934
13	国分寺台文化センター	3,408	12,696	16,105	3,318	19,422	5,690
	合計	45,288	130,232	175,520	120,924	296,444	3,390

※ えびな市民活動センターは平成 25 年開館のため、支出額は計上していない。

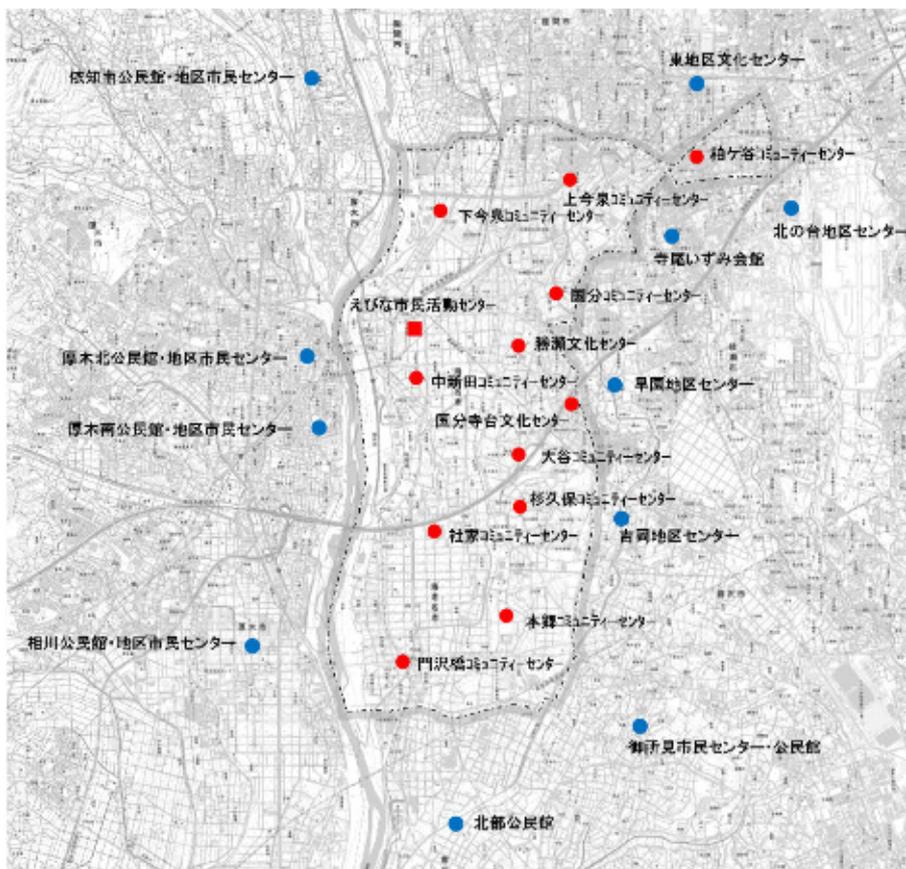
※ 面積あたり維持管理費は、施設面積の少数点以下を含めて計算しているため、本書の表中に記載されている数値に基づく算出値と異なる場合がある。

※ 面積あたり維持管理費の合計値欄には、全施設の平均値(「-」の施設を除く)を記述する。

(6) 周辺自治体の施設状況

本市の地域コミュニティ施設には、市境界近くに設置されているものがあります。また、他自治体の公民館などにおいても、市境界近くに設置されているものもあります。

今後、更新などを行う際、相互の利用を前提として再編を検討することも考えられます。



※ 青印の施設は海老名市外の施設を表わす。

図 3-18 周辺自治体の施設状況

表 3-24 周辺自治体の施設状況

市町	施設名	住所
座間市	東地区文化センター	座間市東原3丁目1-1
厚木市	依知南公民館・地区市民センター	厚木市下依知406-1
	厚木北公民館・地区市民センター	厚木市元町9-4
	厚木南公民館・地区市民センター	厚木市旭町3-14-4
	相川公民館・地区市民センター	厚木市下津古久703-2
藤沢市	御所見市民センター・公民館	藤沢市打戻1760-1
綾瀬市	早園地区センター	綾瀬市早川2934番地
	吉岡地区センター	綾瀬市吉岡2316番地
	北の台地区センター	綾瀬市蓼川二丁目1番12号
	寺尾いずみ会館	綾瀬市寺尾台三丁目6番25号
寒川町	北部公民館	寒川町宮山2820番地の1

(7) まとめ

【えびな市民活動センター】

- 平成 24 年度に「交流館」が建設され、平成 26 年 11 月には「レクリエーション館」が開設予定です。市民活動の拠点として整備された大規模な施設であり、今後、市民による十分な利用を促すと共に、長期的な視点で、計画的・効率的に維持管理することが求められます。

【コミュニティセンター・文化センター】

- 平成 3 年以前に建設された 5 つの施設はすべてリニューアル工事が行われています。また、平成 4 年度から 9 年度までにかけて集中的に整備された 7 つの施設について、今後、老朽化に伴う問題が増えてくると見込まれることから、工事の時期が重ならないように計画的に対応していく必要があります。
- 施設配置はおおむね小学校区と一致しており、主な利用者が地域住民となることから、施設の更新にあたっては、学校の空き教室などを活用して移転整備するなど、施設の総量を増やさずにサービスを継続する方策を検討する必要があります。コミュニティセンターが小学校と一体化することで、地域による子どもの見守りや、世代間の交流などの副次的な効果も期待されます。
- コミュニティセンター、文化センターは防災拠点（避難所）に指定されているため、移転整備や他施設の転用などを検討する際には、防災面で問題がないか検証する必要があります。
- 周辺自治体のコミュニティ施設の設置状況を見ると、本市境界近くにある施設も点在することから、通常時や災害時の防災機能も考慮した相互利用などの広域連携について検討する余地があります。

5. 教育施設

(1) サービス状況

ア. 施設の目的・機能

本市には、2つの図書館が整備されています。中央図書館は市内中央部に位置しており、有馬図書館は南部地区に配置されています。

図書館以外には、資料館・収蔵庫が3施設設置されており、市内から出土した考古資料や民俗資料、郷土の歴史史料などが管理・展示されています。その他、教育支援センターが平成26年12月に開設予定であり、そこでは特別支援教育、児童生徒指導などを行う予定となっています。

また、今福薬医門公園内にある文庫蔵は、1847年に建設された歴史的建築物で、外観の公開及び収蔵施設として活用しています。



図 3-19 施設位置(教育施設)

表 3-25 施設一覧(教育施設)

NO	施設名	地域	建設年度	施設面積(m ²)	備考
1	歴史資料収蔵館	海西	S45年度	333	
2	今福薬医門公園 文庫蔵	海西	1847年	37	市民から寄贈を受けた歴史的建築物。
3	温故館(郷土資料館)	国分	H22年度	423	
4	文化財収蔵庫	国分	H5年度	318	
5	中央図書館	海西	S59年度	3,629	
6	有馬図書館	南部	H6年度	933	
7	教育支援センター	海西	H26年度	433	
合計				6,106	

※ 今福薬医門公園文庫蔵は江戸時代の建物であることから、建設年度を西暦で表示する。

※ 施設一覧に記載されているのは「建物の建設年度」であり、「施設の開設年度」とは異なる場合がある。

イ. 貸室の保有状況

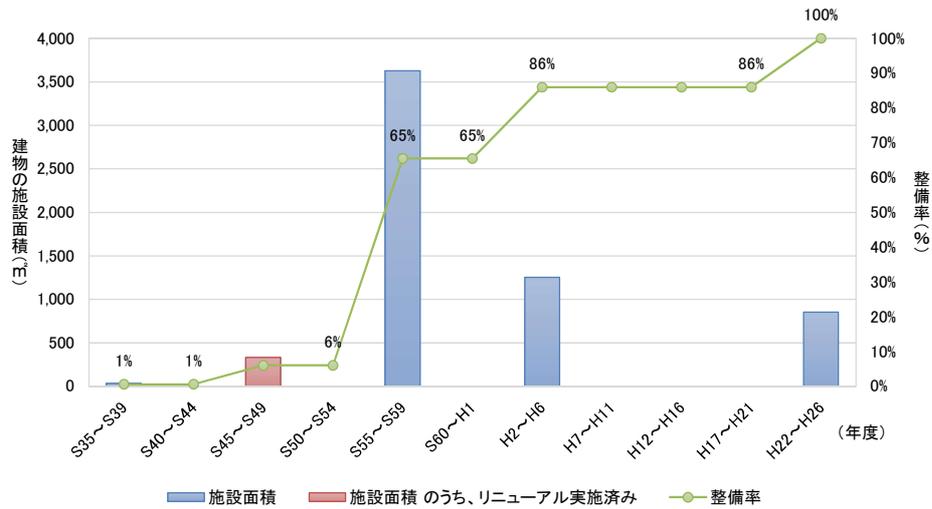
教育施設の貸室状況に関しては、文化財収蔵庫及び歴史資料収蔵館には会議室があり、特に文化財収蔵庫の会議室は休憩所として利用ができます。

表 3-26 貸室の保有状況(教育施設)

NO	施設名	分類	貸室名
1	歴史資料収蔵館	会議室(汎用・洋室)	会議室
2	文化財収蔵庫	会議室(汎用・洋室)	国分尼寺休憩所
		和室	国分尼寺集会所

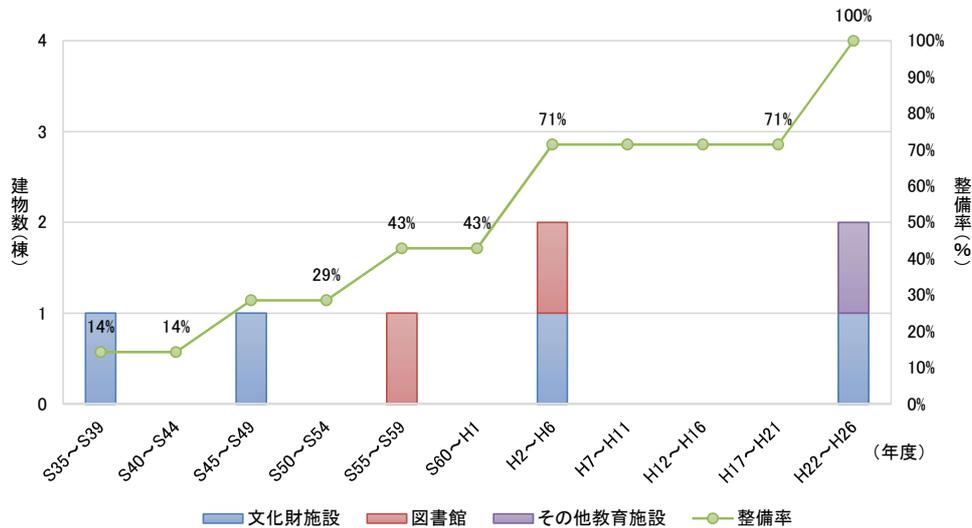
(2) 建物状況

昭和 45 年度に児童館として建設された歴史資料収蔵館は、平成 22 年度にリニューアル工事を実施しています。また、中央図書館は、平成 27 年度のリニューアルオープンに向けた工事の設計を進めています。



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-20 建設年度別・建物の施設面積(教育施設)



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-21 建設年度別・建物の棟数(教育施設)

表 3-27 建物一覧(教育施設)

NO	施設名	建物名	建設年度	構造形式	建物の施設面積(m ²)	保有形態
1	歴史資料収蔵館	歴史資料収蔵館	S45年度	鉄筋コンクリート造(RC)	333	市所有
2	今福薬医門公園 文庫蔵	今福薬医門公園 文庫蔵	1847年	木造(W)	37	市所有
3	温故館(郷土資料館)	温故館(郷土資料館)	H22年度	木造・鉄骨造2階建	423	市所有
4	文化財収蔵庫	文化財収蔵庫	H5年度	軽量鉄骨造(LGS)	318	市所有
5	中央図書館	中央図書館	S59年度	鉄筋コンクリート造(RC)	3,629	市所有
6	有馬図書館	有馬図書館	H6年度	鉄筋コンクリート造(RC)	933	市所有
7	教育支援センター	教育支援センター	H26年度	木造(W)	433	市所有
合計					6,106	

※ 建物の施設面積において、「青網掛け」は外装・内装・空調の「全て」を全面的に改修するリニューアルを実施済み、「緑網掛け」は外装・内装・空調の「いずれか」を改修する老朽化対策を実施済みであることを示す。

(3) 管理運営状況

図書館は、中央図書館・有馬図書館ともに指定管理者により運営されています。

開館時間に関しては、中央図書館・有馬図書館ともに 19 時まで開館しており、夕方以降も利用が可能となっています。

表 3-28 管理運営状況一覧(教育施設)

NO	施設名	管理運営の形態	平日開館状況		休日開館状況		備考
			開館の有無	平日の開館時間	開館の有無	休日の開館時間	
1	歴史資料収蔵館	直営	○	9時00分～17時15分	○	9時00分～17時15分	月曜日(定期休館日) ※月曜日が祝日の時は翌火曜日が休館
2	今福薬医門公園 文庫蔵	直営	○	10時00分～16時30分	○	10時00分～16時30分	
3	温故館(郷土資料館)	直営	○	9時00分～17時15分	○	9時00分～17時15分	
4	文化財収蔵庫	直営	×	-	○	9時00分～17時00分	
5	中央図書館	指定管理者	○	9時00分～19時00分	○	9時00分～19時00分	
6	有馬図書館	指定管理者	○	9時00分～19時00分	○	9時00分～19時00分	第2・4・5月曜日(定期休館日)
7	教育支援センター	直営	○	9時00分～17時00分	○	9時00分～12時00分	日曜日(定期休館日)、祝日

※ 文化財収蔵庫は、会議室を土日祝日のみ休憩所として開放しており、和室は使用許可時のみ貸出している。

(4) 利用状況

図書館の利用者数を見ると、中央図書館の入館者数が年間約 14 万人を超え、有馬図書館の約 5 倍の利用者数となっています。利用者の推移を見ると、中央図書館は横ばい、有馬図書館は、やや減少傾向にあります。

資料館などに関しては、温故館では年間 1 万人前後、歴史資料収蔵館は年間 1,000 人ほどの利用者となっていますが、週あたりに換算すると 20~180 人程度の利用者数であり、必ずしも利用が多い施設とは言えない状況です。

表 3-29 利用状況一覧(教育施設)

NO	施設名	地域	施設面積 (㎡)	利用指標		利用数				増減の傾向			週あたり 利用者数 (人/週)		
						指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度	3ヵ年平均	増加		なし	減少
1	歴史資料収蔵館	海西	333	来館者数	人	991	1,448	937	1,125		↑↓		22		
2	温故館(郷土資料館)	国分	423	来館者数	人	開設前	10,305	8,885	9,595			↓	185		
3	文化財収蔵庫	国分	318	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
4	中央図書館	海西	3,629	図書貸出者数	人	148,278	145,252	149,503	147,678		↑↓		2,840		
5	有馬図書館	南部	933	図書貸出者数	人	29,253	28,332	27,276	28,287			↓	544		
6	教育支援センター	海西	433	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※ 週あたり利用者数は、年間利用者数を 52 週で割った値とする。

※ 文化財収蔵庫は、会議室・休憩所として一部の部屋を貸出ししているため、利用状況を正確に把握できない。

※ 歴史資料収蔵館は貸出し用の会議室も有しているが、利用者数は正確に把握できない。

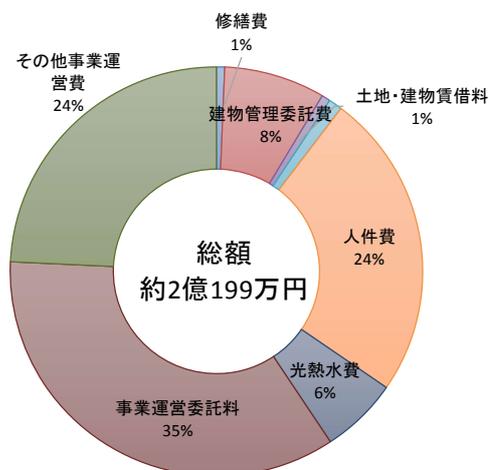
※ 教育支援センターは平成 26 年度開設のため、当集計の対象外とする。

※ 今福薬医門公園文庫蔵は外観の公開のみであり、市民が普段利用する施設ではないため分析に含まない。

(5) コスト状況

教育施設の支出は維持管理費、事業運営費も含め、年間 2 億 199 万円となっています。内訳を見ると、事業運営委託料のほか、人件費及びその他事業運営費が大きな割合を占めています。

施設ごとに見ると、維持管理費、事業管理費とも中央図書館が占める割合が大きくなっています。面積あたりの維持管理費では、借地をしている温故館が約 6 千円と大きくなっています。



※ 当グラフでは、1%未満の項目は表示しない。

図 3-22 支出の費目別割合(教育施設)

表 3-30 コスト一覧(教育施設)

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設整備 相当額(千円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/m ²)
1	歴史資料収蔵館	677	9,478	10,155	1,691	11,846	2,033
2	温故館(郷土資料館)	2,517	10,713	13,230	2,148	15,378	5,950
3	文化財収蔵庫	315	342	657	1,614	2,272	991
4	中央図書館	14,354	150,180	164,534	18,424	182,958	3,955
5	有馬図書館	2,967	10,444	13,411	4,737	18,147	3,180
6	教育支援センター	-	-	-	2,198	2,198	-
	合計	20,830	181,158	201,988	30,812	232,799	3,222

※ 教育支援センターは平成 26 年度開設のため、支出額は計上していない。

※ 面積あたり維持管理費は、施設面積の少数点以下を含めて計算しているため、本書の表中に記載されている数値に基づく算出値と異なる場合がある。

※ 面積あたり維持管理費の合計値欄には、全施設の平均値(「-」の施設を除く)を記述する。

※ 中央図書館、有馬図書館は、平成 26 年度より指定管理者制度を導入している。

※ 今福薬医門公園文庫蔵は外観の公開のみであり、市民が普段利用する施設ではないため分析に含まない。

(6) 周辺自治体の施設状況

周辺自治体の図書館の配置状況を見ると、本市北部と南部の周辺にあり、比較的近い距離に立地しているため、将来的には、周辺自治体との共同整備・蔵書拡大といった方策も考えられます。その際、電子図書の普及などの技術動向などの状況変化も考慮して、望ましいサービスのあり方を検討する必要があります。



※ 青印の施設は海老名市外の施設を表わす。

図 3-23 周辺自治体の施設状況

表 3-31 周辺自治体の施設状況

市町	施設名	住所
座間市	東地区文化センター	座間市東原3-1-1
厚木市	中央図書館	厚木市中町1-1-3
	相川公民館図書室	厚木市下津古久703-2
綾瀬市	綾瀬市立図書館北の台図書室	綾瀬市蓼川2-1-12北の台地区センター内
	綾瀬市立図書館寺尾いずみ図書室	綾瀬市寺尾台3-6-25寺尾いずみ会館内
寒川町	寒川町北部文化福祉会館図書室	高座郡寒川町宮山2820-1

(7) まとめ

【文化財施設】

- 昭和 45 年に児童館として建設された歴史収蔵資料館は、平成 22 年度にリニューアル工事を実施しています。他の施設については、建設年度が新しく、当面、リニューアルの必要がありません。
- 他の温故館、歴史資料収蔵館については、必ずしも利用が多い施設とは言えない状況です。

【図書館】

- 建設後 30 年近く経過している中央図書館は、平成 27 年度リニューアルオープンします。有馬図書館と一体的に指定管理者による管理運営が行われます。
- 両図書館とも一定の利用実績があることから、リニューアルオープンにより、一層利用が増加することが期待されます。
- 周辺自治体の図書館も比較的近い距離に立地しており、将来的には、周辺自治体との共同整備・蔵書拡大といった方策も考えられます。その際、電子図書の普及などの技術動向などの状況変化も考慮して、望ましいサービスのあり方を検討する必要があります。

【教育支援センター】

- 平成 26 年 12 月に開設を予定している新しい施設です。

6. 文化スポーツ施設

(1) サービス状況

ア. 施設の目的・機能

本市の文化スポーツ施設に関しては、「運動場」、「公園・広場」、「庭球場」、「文化施設」の施設状況を整理します。

市内には、公園・広場、運動場が 4 施設、庭球場が 2 施設、文化施設が 2 施設あり、文化会館・市民ギャラリーは芸術・文化活動の発表・練習・鑑賞の場として利用されています。

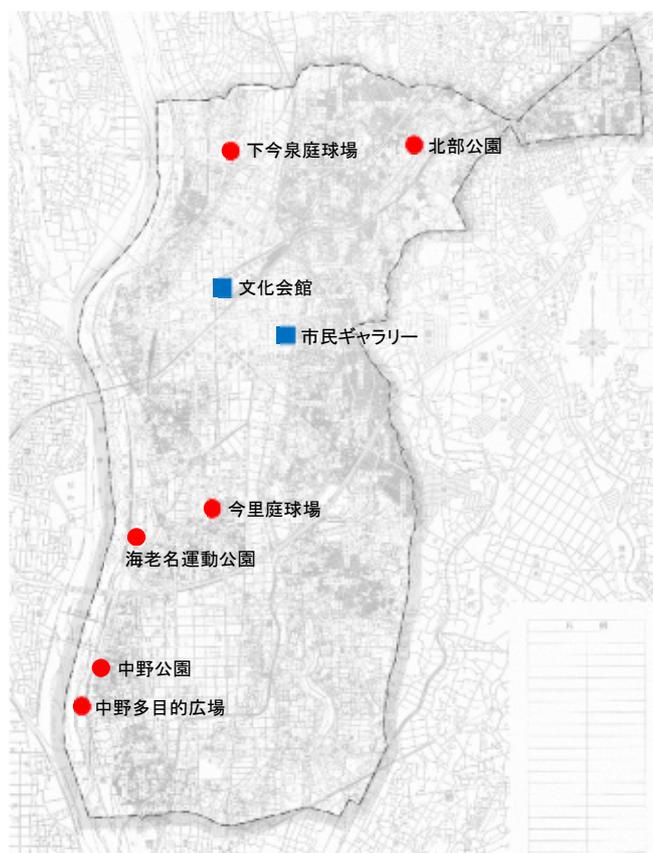


図 3-24 施設位置(文化スポーツ施設)

表 3-32 施設一覧(文化スポーツ施設)

NO	施設名	地域	建設年度	施設面積(m ²)	備考
1	海老名運動公園	南部	S57～H3年度	15,448	総合体育館、屋内プール、野球場、陸上競技場
2	北部公園	北部	H12年度	4,706	
3	中野公園	南部	-	-	建物なし
4	中野多目的広場	南部	-	-	建物なし
5	下今泉庭球場	海西	S54年度	61	
6	今里庭球場	南部	H19年度	84	
7	文化会館	海西	S54、H7年度	9,200	大ホール棟、小ホール棟
8	市民ギャラリー	国分	H7年度	700	
合計				30,199	

※ 施設一覧に記載されているのは「建物の建設年度」であり、「施設の開設年度」とは異なる場合がある。

イ. 貸室の保有状況

海老名運動公園は総合スポーツ施設であり、大小の体育室（アリーナ）だけでなく、各種競技に対応できるよう屋内プール、野球場、庭球場、陸上競技場、弓道場などが整備されています。

また、会議室、多目的室など汎用的な貸室が設置されているスポーツ施設があり、地域コミュニティ施設や文化施設と同様の使い方もされています。

文化会館は 2 つのホールと控え室や練習室、学習室など、多目的に利用可能な会議室を 23 室有しており、地域コミュニティ施設で紹介したえびな市民活動センター(交流館)と同様に、様々な用途に使用することができます。

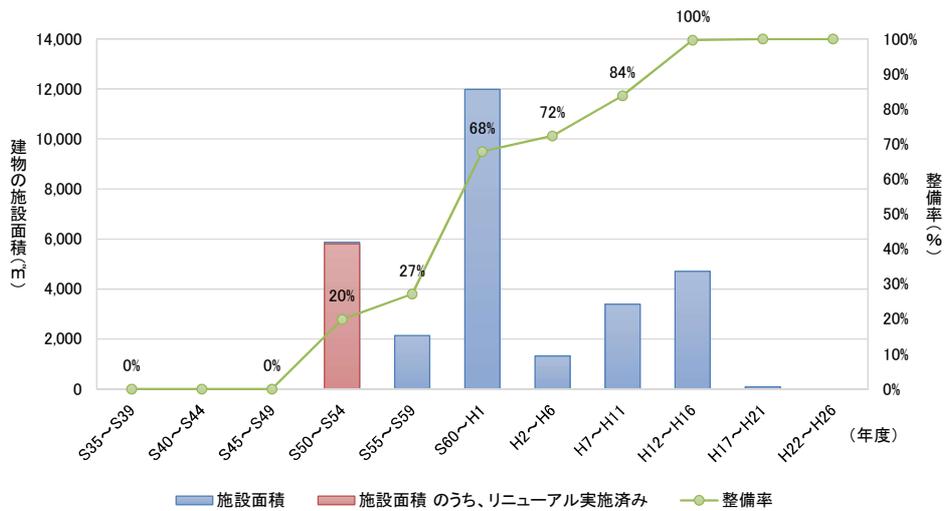
表 3-33 貸室の保有状況(文化スポーツ施設)

NO	施設名	分類	貸室名
1	海老名運動公園	スポーツ施設	大体育室
			小体育室
			多目的室
			柔道場
			剣道場
			弓道場
			トレーニング室
			屋内プール
			陸上競技場
		野球場	
		会議室(汎用・洋室)	会議室
			屋内プール 会議室
			屋内プール 研修室
			陸上競技場 会議室
野球場 会議室			
2	北部公園	スポーツ施設	体育室 屋内プール
		会議室(汎用・洋室)	多目的室
3	下今泉庭球場	スポーツ施設	庭球場
4	今里庭球場	スポーツ施設	庭球場
5	文化会館	ホール(可動席)	大ホール
		ホール(固定席)	小ホール
		大ホール棟 会議室(汎用・洋室)	107リハーサル室
			108大練習室
			253学習室
			254学習室
			255創造室
			256創造室
			351多目的室
			352多目的室
		353多目的室	
		大ホール棟 和室	251和室
			252和室
		大ホール棟 実習室(特定用途)	354実習室・調理室
		小ホール棟 会議室(汎用・洋室)	120サロン
			122大会議室
			203練習室
			204練習室
			206リハーサル室
			207会議室
			208会議室
			301練習室
			302練習室
303練習室			
401練習室			
402練習室			
403練習室			
404練習室			
6	市民ギャラリー	その他	第1展示室
			第2展示室

(2) 建物状況

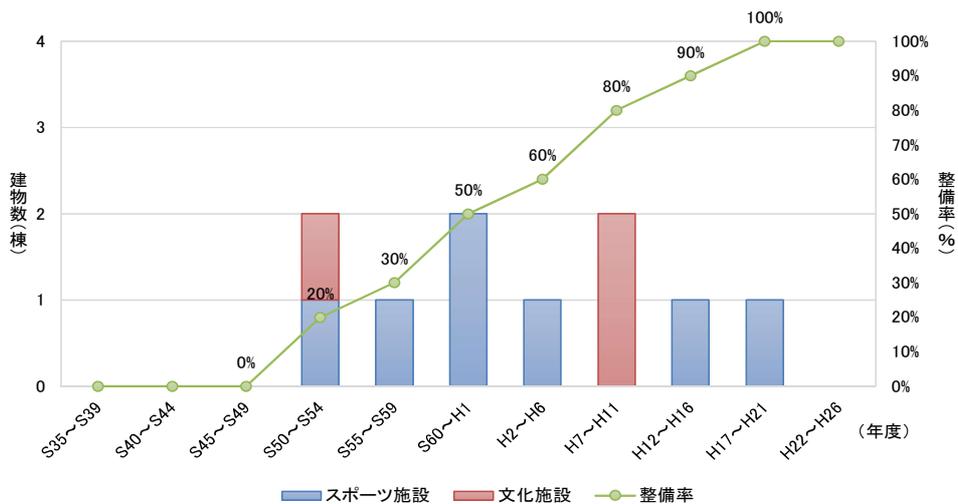
昭和 54 年度に建設された文化会館（大ホール棟）は、平成 23 年度にリニューアル工
事を実施しています。

また、海老名運動公園の 4 つの建物棟のうち、屋内プールは老朽化対策工事を実施し
ています。その他の施設に関しては、いずれも大規模な面積を有していることから、計
画的な老朽化対策が必要です。



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-25 建設年度別・建物の施設面積（文化スポーツ施設）



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-26 建設年度別・建物の棟数（文化スポーツ施設）

表 3-34 建物一覧(文化スポーツ施設)

NO	施設名	建物名	建設年度	構造形式	建物の施設面積(m ²)	保有形態
1	海老名運動公園	海老名運動公園総合体育館	S64年度	鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)	9,466	市所有
2		海老名運動公園屋内プール	S64年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,521	市所有
3		海老名運動公園野球場	S57年度	鉄筋コンクリート造(RC)	2,142	市所有
4		海老名運動公園陸上競技場	H3年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,319	市所有
5	北部公園	北部公園体育館	H12年度	鉄筋コンクリート造(RC)	4,706	市所有
6	中野公園	※建物なし	-	-	-	建物なし
7	中野多目的広場	※建物なし	-	-	-	建物なし
8	下今泉庭球場	下今泉庭球場・管理棟	S54年度	その他	61	市所有
9	今里庭球場	今里庭球場・管理棟	H19年度	鉄筋コンクリート造(RC)	84	市所有
10	文化会館	文化会館(大ホール棟)	S54年度	その他	5,812	市所有
11		文化会館(小ホール棟)	H7年度	その他	3,388	市所有
12	市民ギャラリー	市民ギャラリー	H7年度	鉄筋コンクリート造(RC)	700	区分所有
合計					30,199	

※ 建物の施設面積において、「青網掛け」は外装・内装・空調の「全て」を全面的に改修するリニューアルを実施済み、「緑網掛け」は外装・内装・空調の「いずれか」を改修する老朽化対策を実施済みであることを示す。

(3) 管理運営状況

文化スポーツ施設は、すべての施設が指定管理者により運営されています。

開館時間に関しては、海老名運動公園や北部公園、文化会館は21時以降まで利用可能であり、利便性の高い施設となっています。

表 3-35 管理運営状況一覧(文化スポーツ施設)

NO	施設名	管理運営の形態	平日開館状況		休日開館状況		備考
			開館の有無	平日の開館時間	開館の有無	休日の開館時間	
1	海老名運動公園	指定管理者	○	9時00分～21時30分	○	9時00分～21時30分	主に火曜日休館(不定期)
2	北部公園	指定管理者	○	9時00分～21時00分	○	9時00分～21時00分	主に火曜日休館(不定期)
3	中野公園	指定管理者	○	9時00分～17時0分	○	9時00分～17時00分	
4	中野多目的広場	指定管理者	○	6時00分～18時00分	○	6時00分～18時00分	
5	下今泉庭球場	指定管理者	○	9時00分～17時00分	○	9時00分～17時00分	
6	今里庭球場	指定管理者	○	9時00分～17時00分	○	9時00分～17時00分	
7	文化会館	指定管理者	○	9時00分～22時00分	○	9時00分～22時00分	主に火曜日休館(不定期)
8	市民ギャラリー	指定管理者	○	9時00分～17時30分	○	9時00分～17時30分	主に火曜日休館(不定期)

(4) 利用状況

海老名運動公園、北部公園、文化会館の3施設で年間10万人以上の利用があります。

文化会館については、平成23年度のリニューアル工の影響で利用が少なくなっていますが、リニューアルオープンした平成24年度に20万人を超える利用者数となっています。これら3施設は週あたり2,000人以上の利用者がいます。

表 3-36 利用状況一覧(文化スポーツ施設)

NO	施設名	地域	施設面積 (㎡)	利用指標		利用数				増減の傾向		
						H22年度	H23年度	H24年度	3カ年平均	増加	なし	減少
				指標名	単位							
1	海老名運動公園	南部	15,448	利用人数	人	415,759	561,135	596,567	524,487	↑		
2	北部公園	北部	4,706	利用人数	人	138,275	145,268	143,038	142,194		↑↓	
3	中野公園	南部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	中野多目的広場	南部	-	利用人数	人	11,760	12,740	13,800	12,767	↑		
5	下今泉庭球場	海西	61	利用人数	人	7,372	6,964	6,651	6,996			↓
6	今里庭球場	南部	84	利用人数	人	16,327	15,498	16,317	16,047		↑↓	
7	文化会館	海西	9,200	入場者数	人	151,367	85,801	203,492	146,887		↑↓	
8	市民ギャラリー	国分	700	来場者数	人	25,659	35,296	26,307	29,087		↑↓	

※ 週あたり利用者数は、年間利用者数を52週で割った値とする。

※ 文化会館は、主な施設(大ホール・小ホール・120サロン)の入場者数を対象とする。

※ 中野公園の利用者数は、集計されない。

文化会館・市民ギャラリーの稼働率(使用日数)を見ると、文化会館で80%程度、市民ギャラリーでは60%程度となっています。

表 3-37 利用状況一覧(文化施設)

NO	施設名	地域	施設面積 (㎡)	利用指標		使用日数・稼働率				利用の傾向			週あたり 利用者数 (人/週)
						H22年度	H23年度	H24年度	3カ年平均	増加	なし	減少	
				指標名	単位								
1	文化会館	海西	9,200	使用日数	日	183	95	245	174		↑↓		-
2				稼働率	%	79	74	78	77		↑↓		-
3	市民ギャラリー	国分	700	使用日数	日	165	210	129	168		↑↓		-
4				稼働率	%	52	62	51	55		↑↓		-

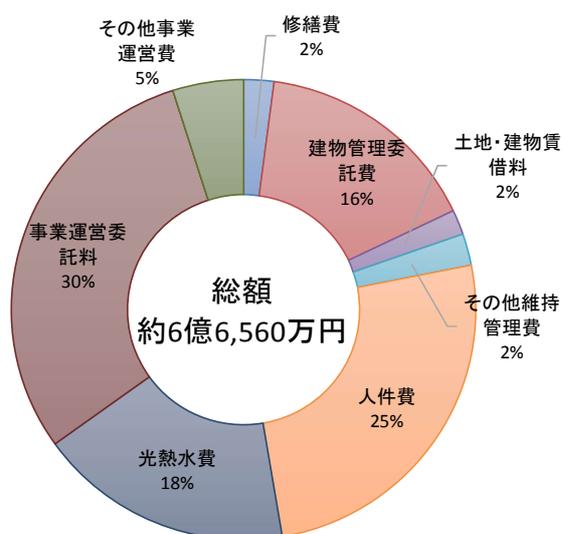
※ 稼働率は、使用可能日数/使用日数で求めた値とする。

※ 使用日数は「統計えびな」より、大ホール、小ホール、120サロンの平均値とする。

(5) コスト状況

文化スポーツ施設の支出は、年間 6 億 6,560 万円となっており、事業運営委託料が約 30%と最も多く、次に人件費が 25%となっており、事業運営費が全体の約 78%を占めています。

施設ごとに見ると、海老名運動公園と文化会館が大半を占めています。ただし、スポーツ施設については指定管理者が一括して管理運営を行っているため、海老名運動公園に一括計上されているものが多いことに留意が必要です。



※ 当グラフでは、1%未満の項目は表示しない。

図 3-27 支出の費目別割合(文化スポーツ施設)

表 3-38 コスト一覧(文化スポーツ施設)

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設整備 相当額(千円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/m ²)
1	海老名運動公園	57,328	408,566	465,894	85,558	551,452	3,711
2	北部公園	9,510	-	9,510	26,064	35,574	2,021
3	中野公園	-	-	-	-	-	-
4	中野多目的広場	-	-	-	-	-	-
5	下今泉庭球場	0	-	0	338	338	0
6	今里庭球場	0	-	0	465	465	0
7	文化会館	70,862	110,985	181,848	50,954	232,802	7,702
8	市民ギャラリー	7,970	380	8,350	3,879	12,229	11,381
	合計	145,671	519,931	665,602	167,258	832,860	5,172

※ 北部公園、中野公園、中野多目的広場、下今泉庭球場、今里庭球場の事業運営費は、海老名運動公園に一括計上している。

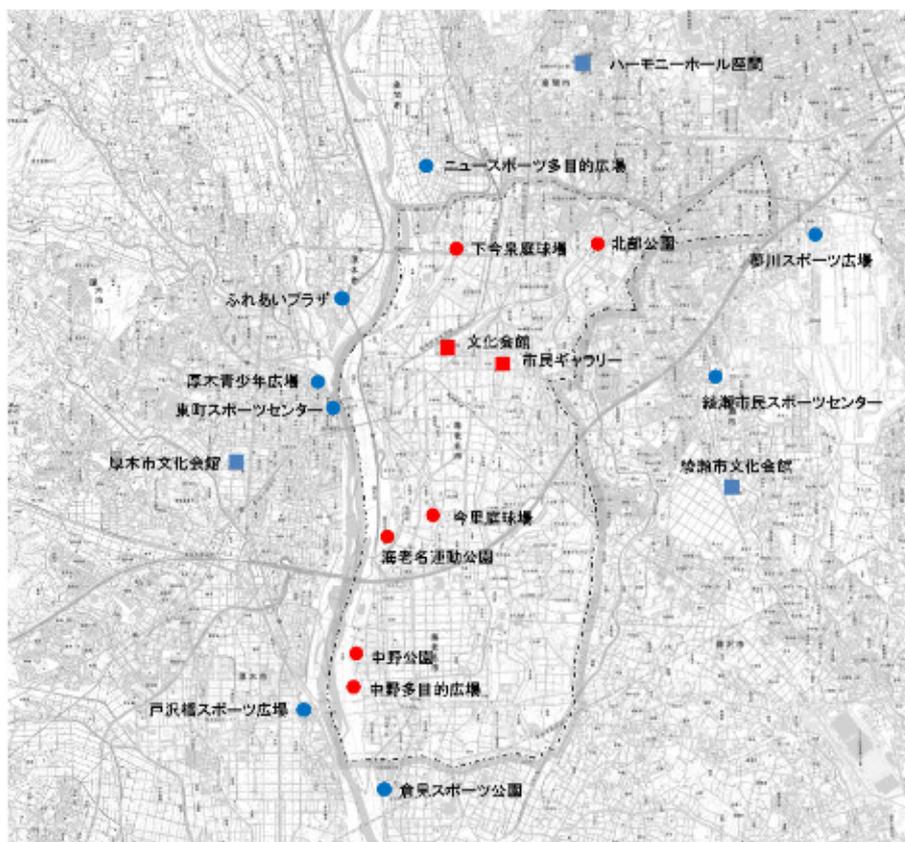
※ 中野公園と中野多目的広場には建物がないため、維持管理費および年あたり施設整備相当額も発生しない。

※ 面積あたり維持管理費は、施設面積の少数点以下を含めて計算しているため、本書の表中に記載されている数値に基づく算出値と異なる場合がある。

※ 面積あたり維持管理費の合計値欄には、全施設の平均値(「-」の施設を除く)を記述する

(6) 周辺自治体の施設状況

本市の周辺には他自治体の文化施設・スポーツ施設が点在しており、東柏ヶ谷地域東部の市民は綾瀬市の蓼川スポーツ広場、北部地域や海西地域北部の市民は座間市のニュースポーツ多目的広場など周辺自治体の施設へのアクセスが良い地区も多いと見られることから、今後、相互利用を高めるための広域連携の可能性についても検討が必要です。



※ 青印の施設は海老名市外の施設を表わす。

図 3-28 周辺自治体の施設状況

表 3-39 周辺自治体の施設状況

市町	施設名	住所
座間市	ニュースポーツ多目的広場	座間市四ツ谷1044-1
	ハーモニーホール座間(市民文化会館)	座間市緑ヶ丘1-1-2
厚木市	ふれあいプラザ	厚木市金田1156
	東町スポーツセンター	厚木市東町2-1
	厚木青少年広場	厚木市厚木2348
	戸沢橋スポーツ広場	厚木市戸田地先
	厚木市文化会館	厚木市恩名1-9-20
綾瀬市	蓼川スポーツ広場	綾瀬市蓼川三丁目1448番地
	綾瀬市民スポーツセンター	綾瀬市深谷上3-6-1
	綾瀬市文化会館	綾瀬市深谷3838
寒川町	倉見スポーツ公園	寒川町倉見249-1

(7) まとめ

【スポーツ施設】

- 海老名運動公園の 4 つの建物棟のうち、屋内プールは老朽化対策工事を実施しています。
- その他の施設に関しても、いずれも大規模な面積を有していることから、計画的な老朽化対策が必要です。
- 複数のスポーツ施設を一括して指定管理者が管理しており、管理運営の効率化が図られています。
- 海老名運動公園、北部公園の年間利用人数は 10 万人を超えています。
- 周辺自治体のスポーツ施設の中には、地区によっては本市の施設よりアクセスが良い場合もあるため、今後、相互利用を高めるための広域連携の可能性についても検討が必要です。
- コスト総額が約 5 億円で、他の施設分類より大きな額が支出されています。

【文化施設】

- 昭和 54 年度に建設された文化会館（大ホール棟）は、平成 23 年度にリニューアル工事を実施しています。
- 文化会館は約 80%の稼働率があり、リニューアルオープン後は利用者が 20 万人を超えています。
- コスト総額が約 2 億円で、他の施設分類より大きな額が支出されています。

7. 保健医療福祉施設

(1) サービス状況

ア. 施設の目的・機能

保健医療福祉施設に関しては、「保健施設」「保育施設」「障がい者福祉施設」「高齢者福祉施設」の状況を整理します。

本市には、保健施設が 2 施設、保育施設が 6 施設、障がい者福祉施設が 6 施設、高齢者福祉施設が 3 施設あり、合わせて 17 施設が設置されています。

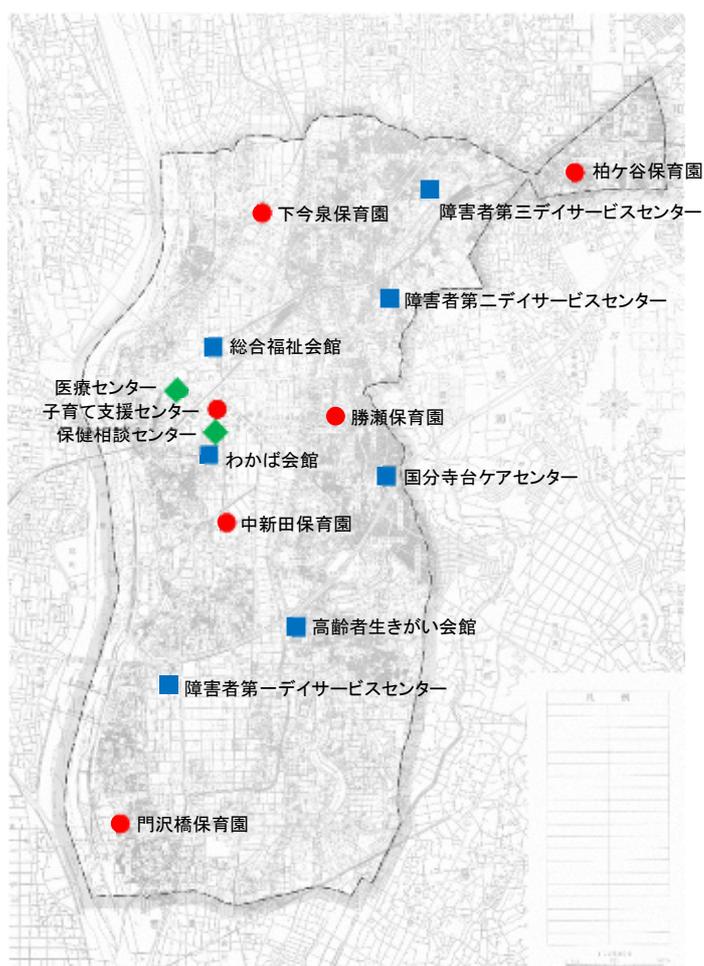


図 3-29 施設位置(保健医療福祉施設)

表 3-40 施設一覧(保健医療福祉施設)

NO	施設名	地域	建設年度	施設面積(m ²)	備考
1	医療センター	海西	H7年度	1,399	
2	保健相談センター	海西	H3年度	3,249	
3	柏ヶ谷保育園	東柏ヶ谷	S61、H4年度	680	一部柏ヶ谷コミュニティセンター内に併設
4	下今泉保育園	海西	S47年度	326	
5	中新田保育園	海西	H10、23年度	787	本館・増築棟
6	勝瀬保育園	国分	S52年度	434	
7	門沢橋保育園	南部	S46年度	328	
8	子育て支援センター	海西	H3年度	145	保健相談センター内に設置
9	障害者第三デイサービスセンター(あきば)	北部	H5年度	580	
10	障害者第二デイサービスセンター(わかば堂)	国分	H22年度	575	
11	障害者第一デイサービスセンター(レインボードリーム)	南部	H22年度	538	
12	わかば会館	海西	H2年度	1,218	
13	わかば学園(わかば会館内)	海西	H2年度	902	わかば会館内に設置
14	わかばケアセンター(わかば会館内)	海西	H2年度	1,010	わかば会館内に設置
15	総合福祉会館	海西	S57年度	1,677	
16	国分寺台ケアセンター	大谷	H9年度	642	国分寺台文化センター内に設置
17	高齢者生きがい会館	南部	H18年度	515	
合計				15,005	

※ 施設一覧に記載されているのは「建物の建設年度」であり、「施設の開設年度」とは異なる場合がある。

各施設における提供サービスの概要を以下に示します。

■ 保健医療施設

- ・ 医療センター：急患医療及び地域医療連携の拠点施設
- ・ 保健相談センター：市民の健康増進を総合的に推進するための施設

■ 子育て支援施設

- ・ 保育園：市立 5 園で定員 470 人。市内には私立が 13 園あり定員 1,040 人。
- ・ 子育て支援センター：子どもの遊び場や親同士の交流の場を提供する施設

■ 障がい者福祉施設

- ・ 障害者デイサービスセンター（3 施設）：
障がい者が地域で自立した生活が送れるように支援する施設
- ・ わかば会館：障がい福祉の拠点施設として、貸館サービスを提供
- ・ わかば学園：障がいのある子どもの生活基本訓練を行う施設
- ・ わかばケアセンター：
身体障がい者が地域で自立した生活が送れるように支援する施設

■ 高齢者福祉施設

- ・ 総合福祉会館：高齢者の健康増進やレクリエーションの場を提供する施設
- ・ 国分寺台ケアセンター：在宅介護のサービスを提供する施設
- ・ 高齢者生きがい会館：高齢者の社会参加を促進するための拠点施設

イ. 貸室の保有状況

障がい者福祉施設、高齢者福祉施設には、各種活動の場として会議室が設置されているほか、スポーツ施設や実習室を保有しているものもあります。

これらの貸室は、コミュニティ施設や生涯学習施設など他の施設分類と共通しており、利用者の条件などの制限を緩和することで多目的に利用することが可能になり、利用の最大化が期待されます。

なお、保健施設、保育施設には貸室はありません。

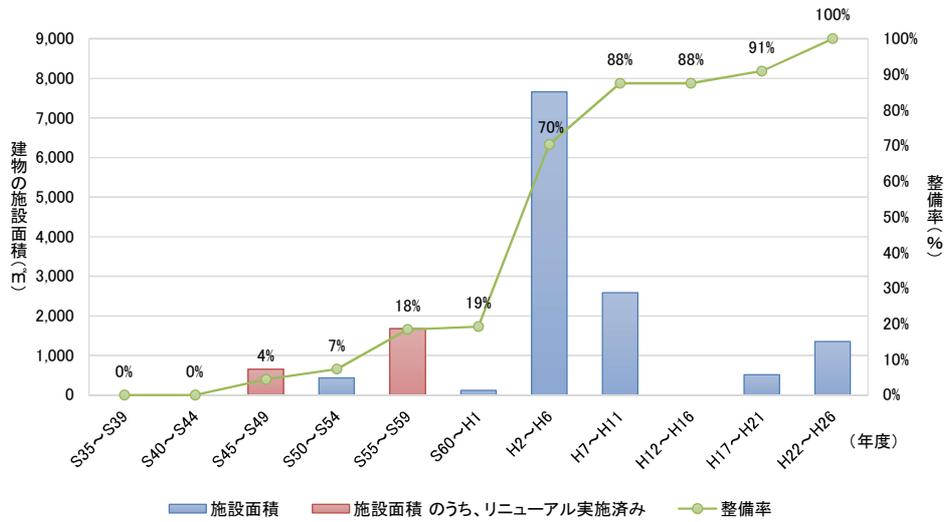
表 3-41 貸室の保有状況(保健医療福祉施設)

NO	施設名	分類	貸室名
1	わかば会館	会議室(汎用・洋室)	第1会議室
			第2会議室
			第3会議室
			多目的交流室
		実習室(特定用途)	工作室
		スポーツ施設	体育室
2	総合福祉会館	会議室(汎用・洋室)	第一娯楽室
			第二娯楽室
			第三娯楽室
			第一会議室
			第二会議室
			第三会議室
			第四会議室
			第五会議室
		和室	茶室
			視聴覚室
3	高齢者生きがい会館	会議室(汎用・洋室)	第1会議室
			第2会議室

(2) 建物状況

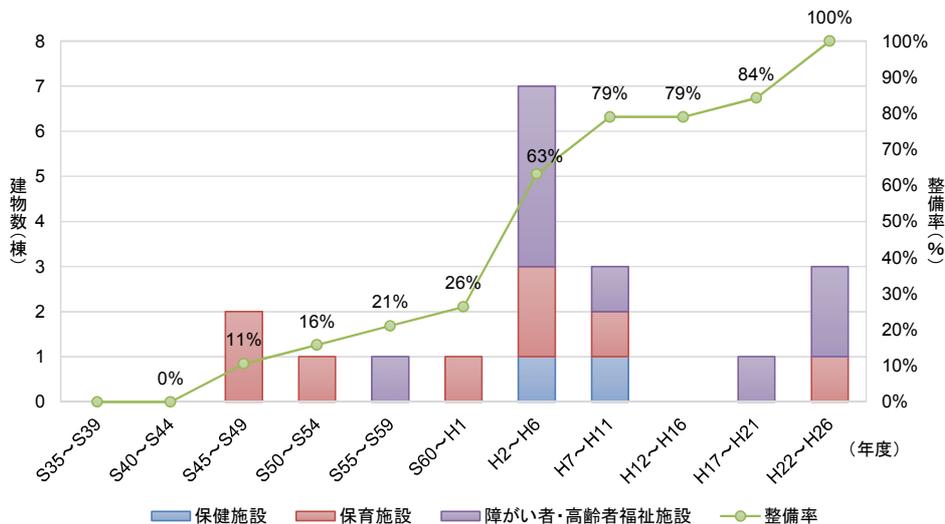
保育施設の下今泉保育園、門沢橋保育園および高齢者福祉施設の総合福祉会館の3施設についてはリニューアル工事を実施しています。

保健医療福祉施設は、平成2年度から平成11年度にかけて建設された建物が多いことから、今後、リニューアル工事の時期が重ならないよう計画的に対応する必要があります。



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-30 建設年度別・建物の施設面積（保健医療福祉施設）



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-31 建設年度別・建物の棟数（保健医療福祉施設）

表 3-42 建物一覧(保健医療福祉施設)

NO	施設名	建物名	建設年度	構造形式	建物の施設面積(m ²)	保有形態
1	医療センター	医療センター	H7年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,399	市所有
2	保健相談センター	保健相談センター	H3年度	鉄筋コンクリート造(RC)	3,249	市所有
3	柏ヶ谷保育園	柏ヶ谷保育園(本館)	H4年度	鉄筋コンクリート造(RC)	561	市所有
4		(柏ヶ谷コミュニティセンター内)	S61年度	鉄筋コンクリート造(RC)	119	市所有
5	下今泉保育園	下今泉保育園	S47年度	鉄骨造(S)	326	市所有
6	中新田保育園	中新田保育園(本館)	H10年度	鉄筋コンクリート造(RC)	543	市所有
7		中新田保育園(増築棟)	H23年度	鉄骨造(S)	244	市所有
8	勝瀬保育園	勝瀬保育園	S52年度	鉄筋コンクリート造(RC)	434	市所有
9	門沢橋保育園	門沢橋保育園	S46年度	鉄骨造(S)	328	市所有
10	子育て支援センター	(保健相談センター内)	H3年度	鉄筋コンクリート造(RC)	145	市所有
11	障害者第三デイサービスセンター(あきば)	障害者第三デイサービスセンター(あきば)	H5年度	軽量鉄骨造(LGS)	580	市所有
12	障害者第二デイサービスセンター(かつば堂)	障害者第二デイサービスセンター(かつば堂)	H22年度	軽量鉄骨造(LGS)	575	市所有
13	障害者第一デイサービスセンター(レインボードリーム)	障害者第一デイサービスセンター(レインボードリーム)	H22年度	軽量鉄骨造(LGS)	538	市所有
14	わかば会館	わかば会館	H2年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,218	市所有
15	わかば学園(わかば会館内)	(わかば会館内)	H2年度	鉄筋コンクリート造(RC)	902	市所有
16	わかばケアセンター(わかば会館内)	(わかば会館内)	H2年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,010	市所有
17	総合福祉会館	総合福祉会館	S57年度	鉄筋コンクリート造(RC)	1,677	市所有
18	国分寺台ケアセンター	(国分寺台文化センター内)	H9年度	鉄筋コンクリート造(RC)	642	市所有
19	高齢者生きがい会館	高齢者生きがい会館	H18年度	軽量鉄骨造(LGS)	515	市所有
合計					15,005	

※ 建物の施設面積において、「青網掛け」は外装・内装・空調の「全て」を全面的に改修するリニューアルを実施済み、「緑網掛け」は外装・内装・空調の「いずれか」を改修する老朽化対策を実施済みであることを示す。

(3) 管理運営状況

保育施設と保健相談センターは直営、高齢者生きがい会館は委託であり、他の施設はすべて指定管理者により運営されています。

保育施設の中でも保育園については、市内で私立の13園がサービス提供を行っていることから、指定管理者への管理運営委託や、民間譲渡などにより民間園に転換するなど民間活用の拡大を検討する余地があります。

表 3-43 管理運営状況一覧(保健医療福祉施設)

NO	施設名	管理運営の形態	平日開館状況		休日開館状況		備考
			開館の有無	平日の開館時間	開館の有無	休日の開館時間	
1	医療センター	指定管理者	○	8時30分～22時00分	○	8時30分～22時00分	日・祝日(定期休館日)
2	保健相談センター	直営	○	8時30分～17時15分	×	-	土・日・祝日(定期休館日)
3	柏ヶ谷保育園	直営	○	7時00分～19時00分	○	7時00分～17時00分	日・祝日(定期休館日)
4	下今泉保育園	直営	○	7時00分～19時00分	○	7時00分～17時00分	日・祝日(定期休館日)
5	中新田保育園	直営	○	7時00分～19時00分	○	7時00分～17時00分	日・祝日(定期休館日)
6	勝瀬保育園	直営	○	7時00分～19時00分	○	7時00分～17時00分	日・祝日(定期休館日)
7	門沢橋保育園	直営	○	7時00分～19時00分	○	7時00分～17時00分	日・祝日(定期休館日)
8	子育て支援センター	直営	○	8時30分～17時15分	○	8時30分～17時15分	日・祝日(定期休館日)
9	障害者第三デイサービスセンター(あきば)	指定管理者	○	8時30分～17時00分	×	-	土・日・祝日(定期休館日)
10	障害者第二デイサービスセンター(かっぱ堂)	指定管理者	○	8時30分～17時00分	×	-	土・日・祝日(定期休館日)
11	障害者第一デイサービスセンター(レインボードリーム)	指定管理者	○	8時30分～17時00分	×	-	土・日・祝日(定期休館日)
12	わかば会館	指定管理者	○	8時30分～21時00分	○	8時30分～21時00分	日曜日(定期休館日)
13	わかば学園(わかば会館内)	指定管理者	○	8時30分～17時00分	○	8時30分～17時00分	日・祝日(定期休館日)
14	わかばケアセンター(わかば会館内)	指定管理者	○	8時30分～17時00分	○	8時30分～17時00分	日曜日(定期休館日)
15	総合福祉会館	指定管理者	○	9時00分～21時30分	○	9時00分～21時30分	第3火曜日(定期休館日)
16	国分寺台ケアセンター	指定管理者	○	8時30分～17時00分	○	8時30分～17時00分	日曜日(定期休館日)
17	高齢者生きがい会館	委託	○	8時30分～21時00分	○	8時30分～21時00分	月1回(定期保守休館日)

(4) 利用状況

市内の保健施設のうち、保健相談センターは年間 6 万人を超える利用があり、保健医療福祉施設全体で見ても、利用が多い施設となっています。

保育園に関しては、ほぼ定員に近い児童を受け入れています。子育て支援センターは、平均 3.0 万人、週あたり約 560 人の利用があります。

高齢者福祉・障がい者福祉施設に関して、障害者第二デイサービスセンターと障害者第三デイサービスセンターは年間利用者数が増加傾向にありますが、わかば会館は利用者数が多いものの減少傾向にあります。

表 3-44 利用状況一覧(保健医療福祉施設)

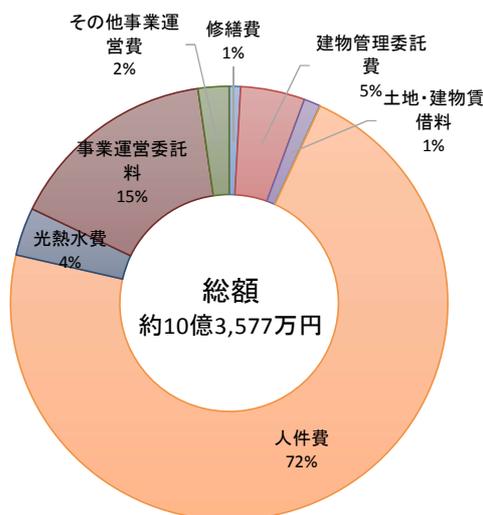
NO	施設名	地域	施設面積 (㎡)	利用指標		利用数				増減の傾向			週あたり利用者 一人あたり面積		
						指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度	3ヵ年平均	増加		なし	減少
1	医療センター	海西	1,399	利用者数	人	24,820	25,709	24,750	25,093		↑ ↓		483 人/週		
2	保健相談センター	海西	3,249	利用者数	人	65,121	70,094	62,632	65,949		↑ ↓		1,268 人/週		
3	柏ヶ谷保育園	東柏ヶ谷	680	入所人数	人	119	120	120	120		↑ ↓		5.7 ㎡/人		
4	下今泉保育園	海西	326	入所人数	人	81	86	83	83		↑ ↓		3.9 ㎡/人		
5	中新田保育園	海西	787	入所人数	人	106	126	140	124	↑			6.3 ㎡/人		
6	勝瀬保育園	国分	434	入所人数	人	58	60	57	58		↑ ↓		7.4 ㎡/人		
7	門沢橋保育園	南部	328	入所人数	人	70	71	71	71		↑ ↓		4.6 ㎡/人		
8	子育て支援センター	海西	145	利用者数	人	31,743	25,635	30,667	29,348		↑ ↓		564 人/週		
9	障害者第三デイサービスセンター (あきば)	北部	580	利用者数	人	4,188	4,270	4,708	4,389	↑			84 人/週		
10	障害者第二デイサービスセンター (かっぱ堂)	国分	575	利用者数	人	8,242	8,292	8,798	8,444	↑			162 人/週		
11	障害者第一デイサービスセンター (レインボードリーム)	南部	538	利用者数	人	6,300	7,283	7,109	6,897		↑ ↓		133 人/週		
12	わかば会館	海西	1,218	利用者数	人	45,964	38,732	34,662	39,786			↓	765 人/週		
13	わかば学園(わかば会館内)	海西	902	登録者数	人	175	157	222	185		↑ ↓		4.9 ㎡/人		
14	わかばケアセンター(わかば会館 内)	海西	1,010	登録者数	人	40	38	45	41		↑ ↓		24.6 ㎡/人		
15	総合福祉会館	海西	1,677	利用者数	人	50,687	29,351	54,622	44,887		↑ ↓		863 人/週		
16	国分寺台ケアセンター	大谷	642	利用者数	人	5,483	4,952	5,026	5,154		↑ ↓		99 人/週		
17	高齢者生きがい会館	南部	515	利用者数	人	5,372	5,472	5,489	5,444	↑			105 人/週		

- ※ わかば学園の利用者は、児童発達支援・放課後デイサービスの登録者数を指標として計上する。
- ※ 週あたり利用者数は、年間利用者数を 52 週で割った値とする。
- ※ 保育園、わかば学園、わかばケアセンターの利用密度は、一人あたりの面積 (㎡/人) を算出する。
- ※ 高齢者生きがい会館全体の利用者数は把握していない。

(5) コスト状況

コスト総額は年間 10 億 3,577 万円で、人件費が約 72%と最も高く、次に事業運営委託料が約 15%となっており、事業運営費が全体の約 93%を占めています。

施設ごとに見ると、維持管理費は保健相談センターと総合福祉会館が高く、事業運営費については、保健相談センターと中新田保育園、柏ヶ谷保育園が高くなっています。



※ 当グラフでは、1%未満の項目は表示しない。

図 3-32 支出の費目別割合 (保健医療福祉施設)

表 3-45 コスト一覧 (保健医療福祉施設)

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設整備 相当額(千円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/m ²)
1	医療センター	5,908	67,448	73,356	7,748	81,105	4,223
2	保健相談センター	30,200	260,203	290,403	17,994	308,397	8,899
3	柏ヶ谷保育園	9,329	106,413	115,742	3,767	119,510	13,716
4	下今泉保育園	687	96,139	96,826	1,806	98,632	2,108
5	中新田保育園	229	150,942	151,171	4,359	155,530	291
6	勝瀬保育園	648	90,941	91,589	2,404	93,993	1,493
7	門沢橋保育園	581	97,668	98,249	1,817	100,066	1,771
8	子育て支援センター	—	18,955	18,955	801	19,756	—
9	障害者第三サービスセンター(あきば)	1,909	6,217	8,126	3,214	11,340	3,290
10	障害者第二サービスセンター(かっぱ堂)	592	1,273	1,865	3,187	5,051	1,028
11	障害者第一サービスセンター(レインボードリーム)	1,118	2,392	3,510	2,979	6,489	2,079
12	わかば会館	1,920	7,392	9,312	6,746	16,058	1,577
13	わかば学園(わかば会館内)	385	740	1,125	4,997	6,122	426
14	わかばケアセンター(わかば会館内)	1,163	2,901	4,063	5,591	9,655	1,152
15	総合福祉会館	10,142	7,007	17,149	9,288	26,437	6,048
16	国分寺台ケアセンター	3,303	44,461	47,763	3,556	51,319	5,144
17	高齢者生きがい会館	2,852	3,713	6,565	2,855	9,420	5,532
	合計	70,965	964,805	1,035,770	83,107	1,118,877	3,674

※ 保健相談センターの維持管理費は併設する子育て支援センターのコストを含んでいる。

※ 保健相談センターの面積あたり維持管理費は、子育て支援センターの面積を含めて算出している。

※ 面積あたり維持管理費は、施設面積の少数点以下を含めて計算しているため、本書の表中に記載されている数値に基づく算出値と異なる場合がある。

※ 面積あたり維持管理費の合計値欄には、全施設の平均値(「-」の施設を除く)を記述する。

(6) まとめ

【保健施設】

- 医療センターおよび保健相談センターは、分類内の他施設と建設時期が重なっていることから、今後リニューアルの時期が重ならないよう計画的に対応する必要があります。また、建物規模が大きく利用も多いことから、利用者に及ぼす影響を軽減するための工夫も求められます。
- 保健施設においては、全体で約 3.6 億円が支出されています。

【保育施設】

- 保育園はすべて直営で運営されており、人件費の占める割合が高くなっています。また、市立の 5 園以外に、市内で私立の 13 園がサービス提供を行っていることから、指定管理者への管理運営委託や、民間譲渡などにより民間園に転換するなど民間活用の拡大を検討する余地があります。
- 子育て支援センターは、年平均 3.0 万人、週あたり約 560 人の利用があります。

【障がい者福祉施設】

- 障がい者福祉施設は各種生活支援サービスを提供しており、今後も、サービスを継続する必要性は高いと考えられます。
- わかば会館は貸館サービスを提供しており、利用者の制限を緩和することで多目的な利用が可能になり、地域コミュニティ施設や生涯学習施設の貸館サービスと連携して運用できる可能性があります。

【高齢者福祉施設】

- 建設から 30 年以上経過している総合福祉会館はリニューアルが行われています。
- 総合福祉会館と高齢者生きがい会館は貸館サービスを提供しており、利用者の制限を緩和することで多目的な利用が可能になり、地域コミュニティ施設や生涯学習施設の貸館サービスと連携して運用できる可能性があります。

8. 産業振興施設

(1) サービス状況

ア. 施設の目的・機能

本市には、産業振興施設として、南部農業拠点施設とライスセンターが設置されています。これらの施設は、刈取り後の籾の乾燥や調整、計量袋詰めといった、農業者に対する支援を提供しています。

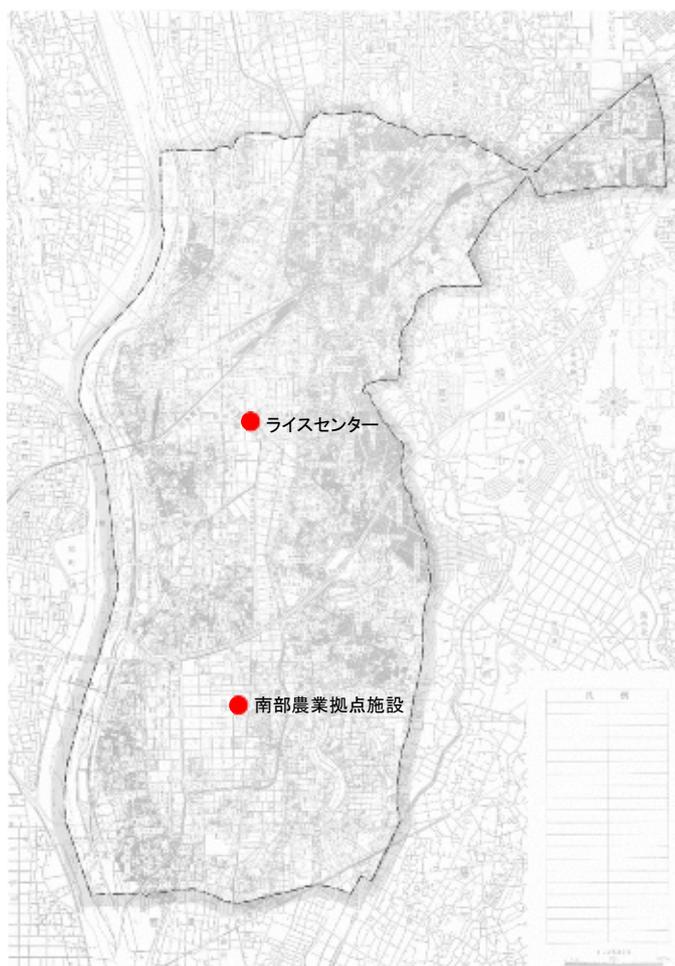


図 3-33 施設位置(産業振興施設)

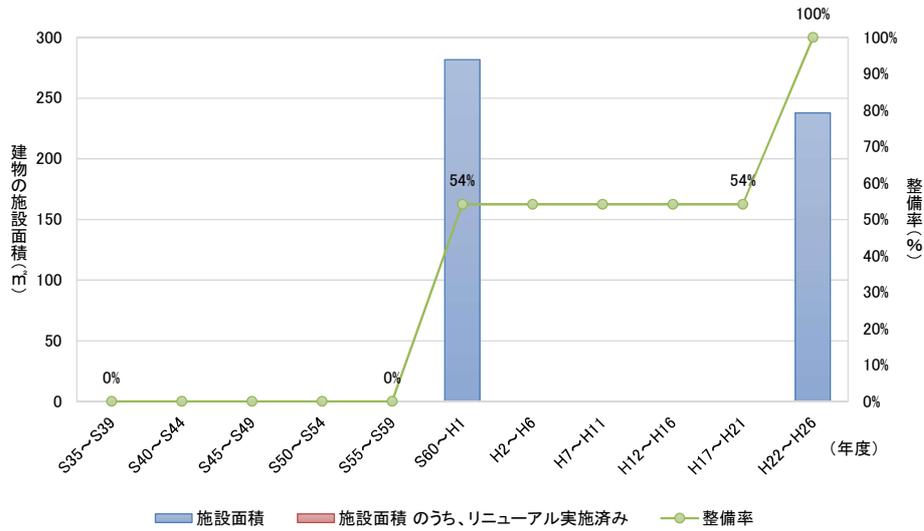
表 3-46 施設一覧(産業振興施設)

NO	施設名	地域	建設年度	施設面積(m ²)	備考
1	ライスセンター	大谷	S62年度	282	
2	南部農業拠点施設	南部	H24年度	238	
合計				520	

※ 施設一覧に記載されているのは「建物の建設年度」であり、「施設の開設年度」とは異なる場合がある。

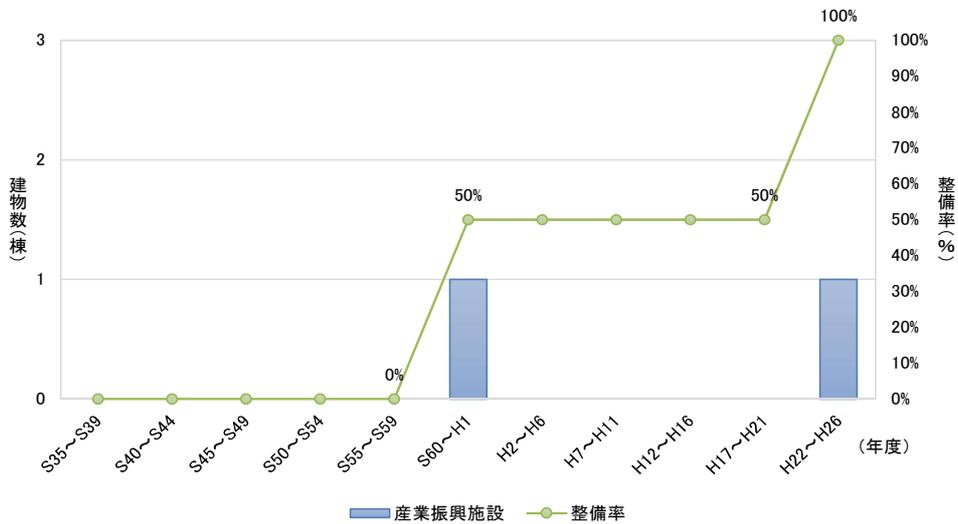
(2) 建物状況

産業振興施設は、ライスセンターが昭和 62 年度、南部農業拠点施設が平成 24 年度に建設されています。また、ライスセンターは建設後 25 年以上経過しており、今後老朽化に伴う問題が増えてくると見込まれます。



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-34 建設年度別・建物の施設面積(産業振興施設)



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-35 建設年度別・建物の棟数(産業振興施設)

表 3-47 建物一覧(産業振興施設)

NO	施設名	建物名	建設年度	構造形式	建物の施設面積(m ²)	保有形態
1	ライスセンター	ライスセンター	S62年度	鉄骨造(S)	282	市所有
2	南部農業拠点施設	南部農業拠点施設	H24年度	軽量鉄骨造(LGS)	238	市所有
合計					520	

※ 建物の施設面積において、「青網掛け」は外装・内装・空調の「全て」を全面的に改修するリニューアルを実施済み、「緑網掛け」は外装・内装・空調の「いずれか」を改修する老朽化対策を実施済みであることを示す。

(3) 管理運営状況

南部農業拠点施設は市の直営です。

ライスセンターについては、本市が施設を保有していますが、海老名市中部営農組合が土地建物使用貸借契約を締結し、専有して利用しています。

表 3-48 管理運営状況一覧(産業振興施設)

NO	施設名	管理運営の形態	平日開館状況		休日開館状況		備考
			開館の有無	平日の開館時間	開館の有無	休日の開館時間	
1	ライスセンター	その他	-	-	-	-	土地建物使用貸借契約を締結し、海老名市中部営農組合が施設を使用
2	南部農業拠点施設	直営	○	8時30分～17時00分	○	8時30分～17時00分	

(4) 利用状況

南部農業拠点施設は平成24年度に建設されたものであり、また農業従事者が使用する施設のため、利用者は少ない状況となっています。

表 3-49 利用状況一覧(産業振興施設)

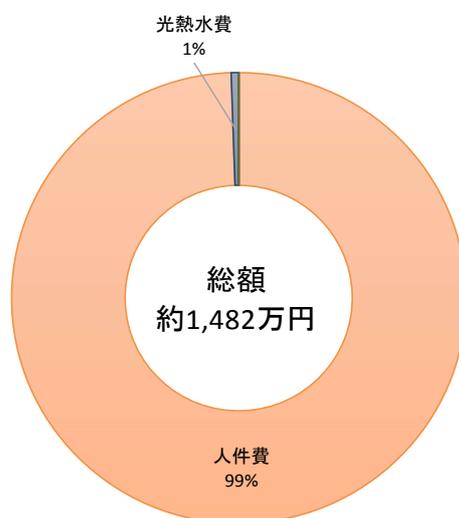
NO	施設名	地域	施設面積(m ²)	利用指標		利用数				増減の傾向		
				指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度	3ヵ年平均	増加	なし	減少
1	ライスセンター	大谷	282	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	南部農業拠点施設	南部	238	利用者数	人	-	-	46	46		↑↓	

※ ライスセンターは海老名市中部営農組合が利用しており、利用者数は集計されない。

※ 南部農業拠点施設は平成24年度に開設されているため、集計対象は当年度のみとする。

(5) コスト状況

産業振興施設の支出は年間 1,482 万円となっており、そのほとんどが人件費となっています。



※ 当グラフでは、1%未満の項目は表示しない。

図 3-36 支出の費目別割合 (産業振興施設)

表 3-50 コスト一覧 (産業振興施設)

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設 整備相当額(千 円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/m ²)
1	ライスセンター	0	0	0	1,560	1,560	0
2	南部農業拠点施設	0	14,819	14,819	1,318	16,137	0
合計		0	14,819	14,819	2,878	17,697	0

※ 面積あたり維持管理費は、施設面積の少数点以下を含めて計算しているため算出値と異なる場合がある。

※ 面積あたり維持管理費の合計値欄には、全施設の平均値を記述する。

(6) まとめ

【産業振興施設】

- ライスセンターは建設後 25 年以上が経過しているため、今後、老朽化対策の検討が必要になると見込まれます。

9. 環境施設

(1) サービス状況

ア. 施設の目的・機能

本市の環境施設は、市民の生活環境の保全、廃棄物を適正かつ効率的に処理することを目的に、ごみ及びし尿などの収集運搬、リサイクル活動などにおける拠点施設として、大谷地域に2施設、南部地域に1施設が設置されています。

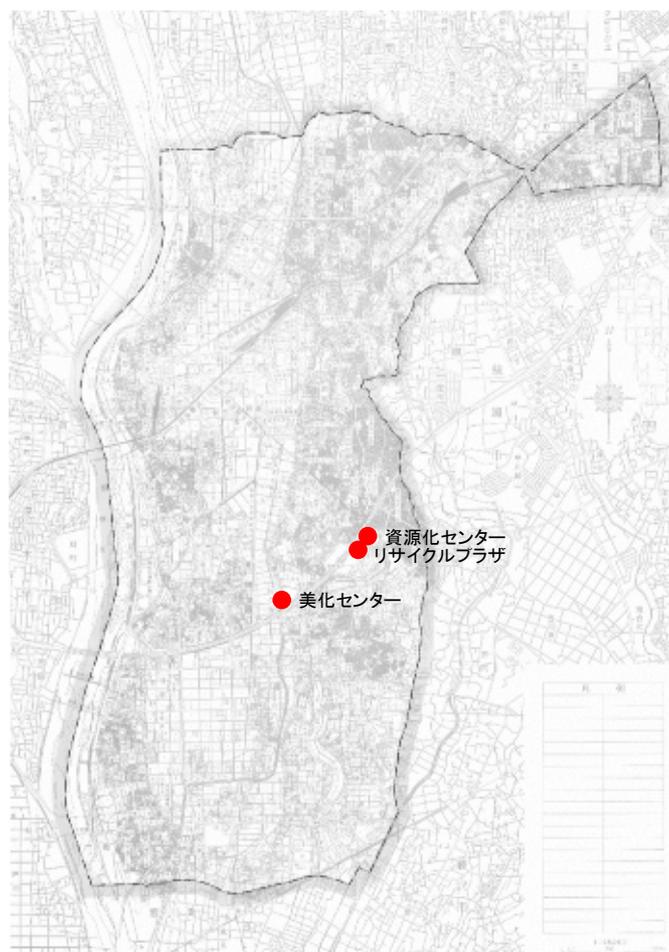


図 3-37 施設位置(環境施設)

表 3-51 施設一覧(環境施設)

NO	施設名	地域	建設年度	施設面積(m ²)	備考
1	リサイクルプラザ	大谷	H13年度	539	
2	資源化センター	大谷	H13～14年度	1,092	全3棟
3	美化センター	南部	S54、H11年度	1,393	センター、車庫
合計				3,024	

※ 施設一覧に記載されているのは「建物の建設年度」であり、「施設の開設年度」とは異なる場合がある。

イ. 貸室の保有状況

リサイクルプラザのみ貸室を保有しており、研修室として利用されています。

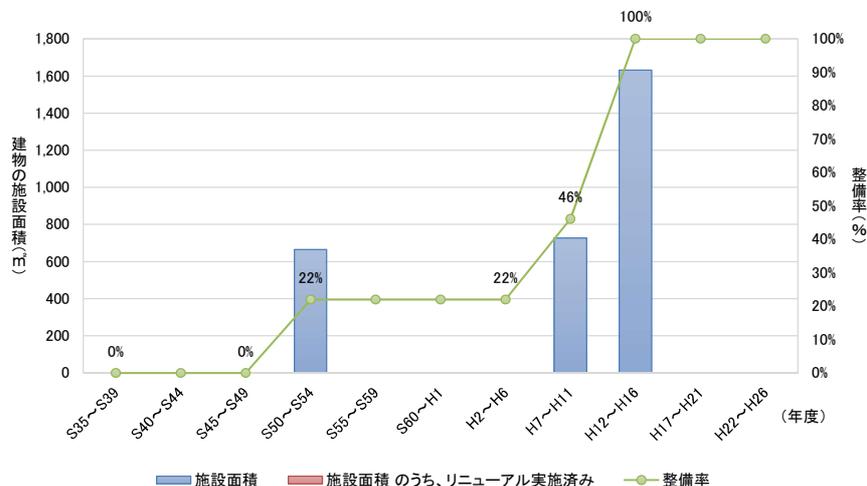
表 3-52 貸室の保有状況(環境施設)

NO	施設名	分類	貸室名
1	リサイクルプラザ	会議室(汎用・洋室)	研修室

(2) 建物状況

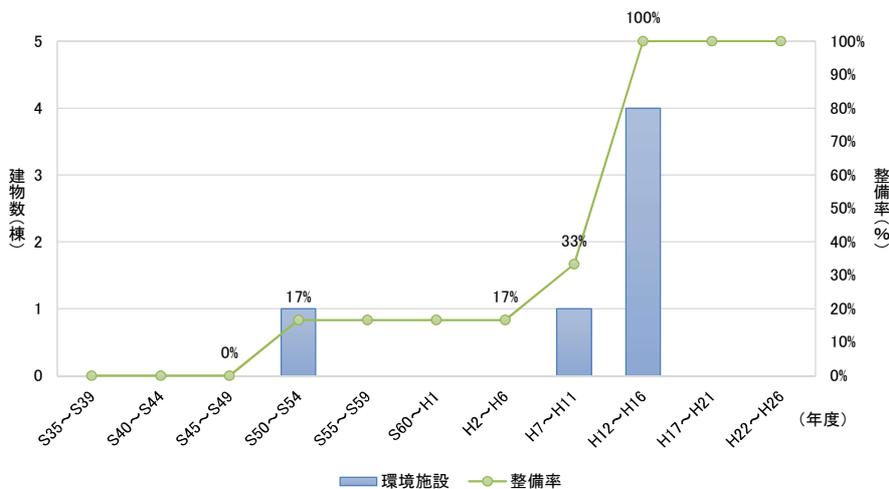
美化センター車庫を除いた建物は平成 10 年度以降に建設された建物となっています。

昭和 54 年度に建てられた美化センター車庫は、建設後 30 年以上が経過しているため、今後、老朽化への対応が必要となります。



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-38 建設年度別・建物の施設面積(環境施設)



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-39 建設年度別・建物の棟数(環境施設)

表 3-53 建物一覧(環境施設)

NO	施設名	建物名	建設年度	構造形式	建物の施設面積(m ²)	保有形態
1	リサイクルプラザ	リサイクルプラザ	H13年度	鉄骨造(S)	539	市所有
2	資源化センター	資源化センター(工場棟1)	H13年度	鉄骨造(S)	697	市所有
3		資源化センター(工場棟2)	H13年度	鉄骨造(S)	233	市所有
4		資源化センター(不燃物分別処理作業棟)	H14年度	軽量鉄骨造(LGS)	162	市所有
5	美化センター	美化センター	H11年度	鉄骨造(S)	728	市所有
6		美化センター車庫(塵芥車・し尿車)	S54年度	鉄骨造(S)	665	市所有
合計					3,024	

※ 建物の施設面積において、「青網掛け」は外装・内装・空調の「全て」を全面的に改修するリニューアルを実施済み、「緑網掛け」は外装・内装・空調の「いずれか」を改修する老朽化対策を実施済みであることを示す。

(3) 管理運営状況

環境施設は、各施設で管理運営形態が異なっており、美化センターは直営、リサイクルプラザは指定管理者、資源化センターは委託により運営されています。

開館時間については、いずれの施設も 17 時に閉館します。なお、美化センターは週末に限り 12 時に閉館します。

表 3-54 管理運営状況一覧(環境施設)

NO	施設名	管理運営の形態	平日開館状況		休日開館状況		備考
			開館の有無	平日の開館時間	開館の有無	休日の開館時間	
1	リサイクルプラザ	指定管理者	○	9時30分～17時00分	○	9時30分～17時00分	火曜日(定期休館日)
2	資源化センター	委託	○	8時30分～17時00分	○	8時30分～17時00分	日曜日(定期休館日)
3	美化センター	直営	○	9時00分～16時00分	○	9時00分～12時00分	

(4) 利用状況

環境施設で、一般の市民利用がある施設はリサイクルプラザのみです。

リサイクルプラザの利用者は 3 カ年の平均で約 2 万人と年々増加傾向にあり、週あたりに換算すると 376 人となります。

表 3-55 利用状況一覧(環境施設)

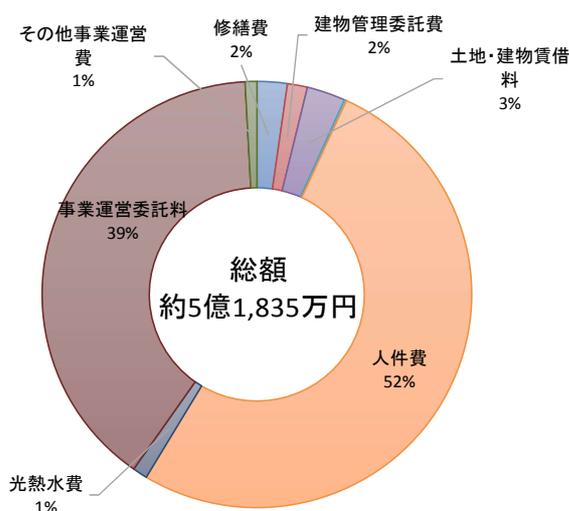
NO	施設名	地域	施設面積(m ²)	利用指標		利用数				増減の傾向			週あたり利用者数(人/週)
						H22年度	H23年度	H24年度	3カ年平均	増加	なし	減少	
1	リサイクルプラザ	大谷	539	来館者数	人	17,775	19,771	21,041	19,529	↑			376
2	資源化センター	大谷	1,092	稼働日数	日	309	314	312	312		↑↓		-
3	美化センター	南部	1,393	稼働日数	日	361	361	361	361		↑↓		-

※ 週あたり利用者数は、年間利用者数を 52 週で割った値とする。

(5) コスト状況

環境施設の支出は年間 5 億 1,835 万円となっています。内訳を見ると、人件費が約 52%と最も高く、次に事業運営委託料が約 39%となっており、事業運営費が支出全体の約 93%を占めています。

施設ごとに見ると、維持管理費については資源化センターが最も大きくなっていますが、事業運営費に関しては美化センターが大きく約 2.7 億円に及びます。



※ 当グラフでは、1%未満の項目は表示しない。

図 3-40 支出の費目別割合(環境施設)

表 3-56 コスト一覧(環境施設)

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設 整備相当額(千 円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/m ²)
1	リサイクルプラザ	370	16,736	17,106	2,988	20,094	686
2	資源化センター	30,544	196,818	227,362	6,046	233,409	27,979
3	美化センター	4,549	269,335	273,884	7,715	281,599	3,265
合計		35,463	482,889	518,352	16,749	535,102	10,643

※ 面積あたり維持管理費は、施設面積の少数点以下を含めて計算しているため、本書の表中に記載されている数値に基づく算出値と異なる場合がある。

※ 面積あたり維持管理費の合計値欄には、全施設の平均値を記述する。

(6) まとめ

【環境施設】

- 環境施設に関して、美化センターの倉庫を除く建物はすべて、平成 10 年度以降に建設された建物となっています。
- 美化センターの車庫は、昭和 54 年度の建物であり建設後 30 年以上が経過しているため、今後、老朽化対策の検討が必要になると見込まれます。

10. 市営住宅

(1) サービス状況

ア. 施設の目的・機能

本市は生活の安定と社会福祉の増進を図るために市営住宅を7施設提供しています。

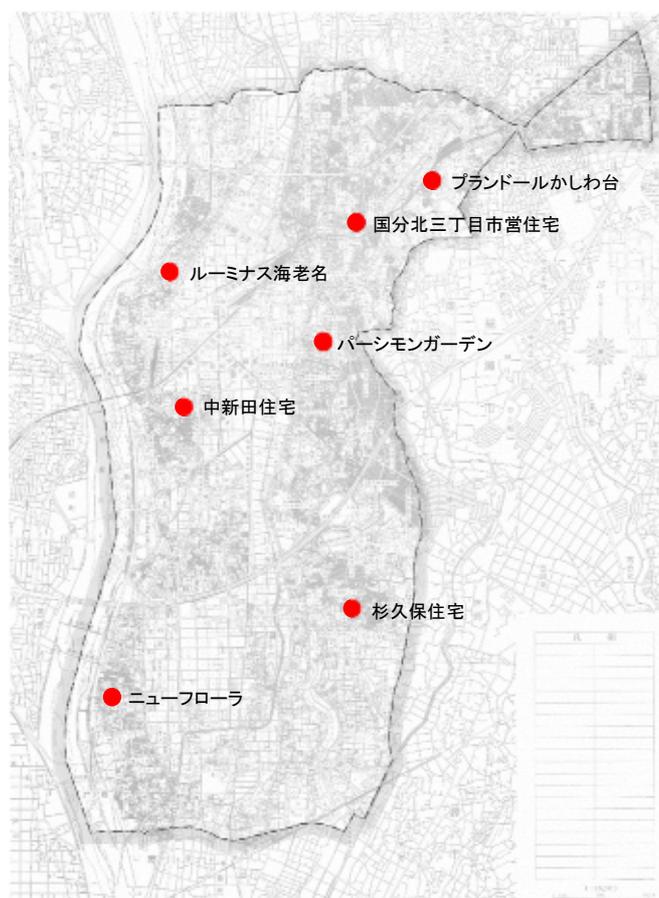


図 3-41 施設位置(市営住宅)

表 3-57 施設一覧(市営住宅)

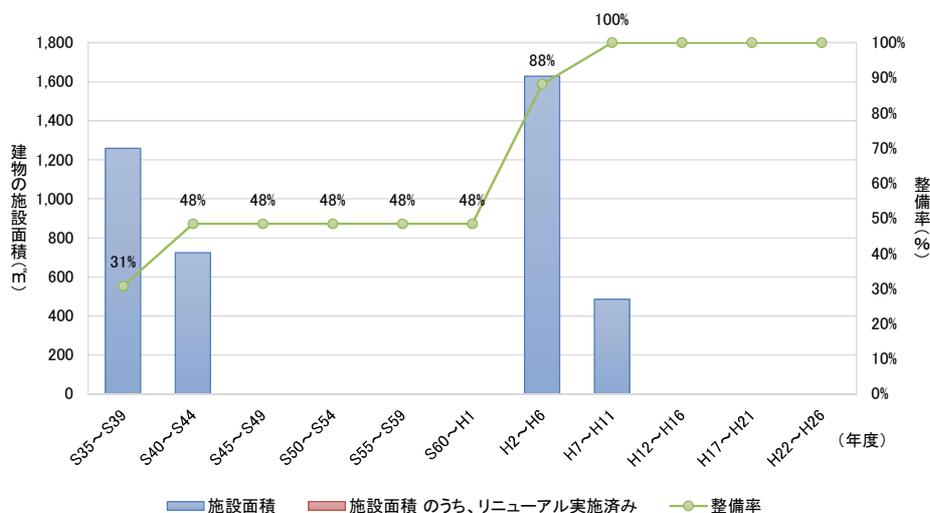
NO	施設名	地域	建設年度	施設面積(m ²)	備考
1	中新田住宅	海西	H9年度	485	全2棟
2	国分北三丁目市営住宅	国分	H5年度	1,628	全2棟
3	杉久保住宅	南部	S39～41年度	1,983	全13棟
4	ブランドールかしわ台	北部	H23年度	691	民間借上型
5	ルーミナス海老名	海西	H19年度	1,246	民間借上型
6	パーシモンガーデン	国分	H21年度	642	民間借上型
7	ニューフローラ	南部	H23年度	608	民間借上型
合計				7,283	

※ 施設一覧に記載されているのは「建物の建設年度」であり、「施設の開設年度」とは異なる場合がある。

(2) 建物状況

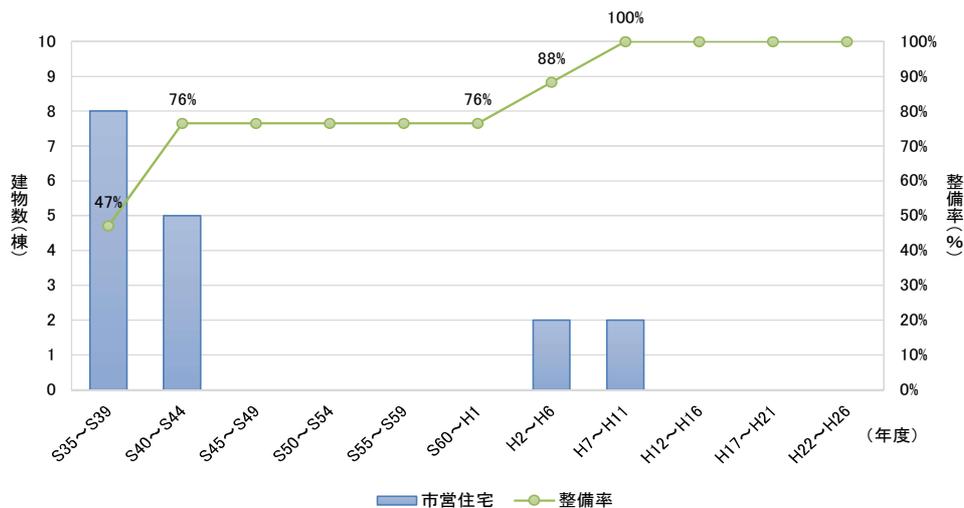
市が建物を保有する3つの市営住宅のうち、昭和39年度及び昭和41年度に建設された杉久保住宅は移転整備を行っており、現状の建物については取り壊しが予定されています。その他の住宅については、平成5年度と平成9年度の建設であり、今後、リニューアル工事・老朽化対策工事の必要性が高まってくると見込まれます。

なお、ルーミナス海老名・プランドールかしわ台・パーシモンガーデン・ニューフローラの4つの住宅は、民間借上型であり、以下の2つのグラフには含まれていません。



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-42 建設年度別・建物の施設面積(市営住宅)



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-43 建設年度別・建物の棟数(住宅)

表 3-58 建物一覧(市営住宅)

NO	施設名	建物名	建設年度	構造形式	建物の施設面積(m ²)	保有形態
1	中新田住宅	中新田住宅(A棟)	H9年度	鉄筋コンクリート造(RC)	243	市所有
2		中新田住宅(B棟)	H9年度	鉄筋コンクリート造(RC)	243	市所有
3	国分北三丁目市営住宅	国分北三丁目市営住宅(A棟)	H5年度	鉄筋コンクリート造(RC)	742	市所有
4		国分北三丁目市営住宅(B棟)	H5年度	鉄筋コンクリート造(RC)	886	市所有
5	杉久保住宅	杉久保住宅(1号棟)	S39年度	その他	157	市所有
6		杉久保住宅(2号棟)	S39年度	その他	157	市所有
7		杉久保住宅(3号棟)	S38年度	その他	157	市所有
8		杉久保住宅(4号棟)	S39年度	その他	157	市所有
9		杉久保住宅(5号棟)	S41年度	その他	157	市所有
10		杉久保住宅(6号棟)	S41年度	その他	189	市所有
11		杉久保住宅(7号棟)	S39年度	その他	157	市所有
12		杉久保住宅(8号棟)	S39年度	その他	157	市所有
13		杉久保住宅(9号棟)	S39年度	その他	157	市所有
14		杉久保住宅(10号棟)	S39年度	その他	157	市所有
15		杉久保住宅(11号棟)	S41年度	その他	157	市所有
16		杉久保住宅(12号棟)	S41年度	その他	94	市所有
17		杉久保住宅(13号棟)	S41年度	その他	126	市所有
18	ブランドールかしわ台	ブランドールかしわ台	H23年度	-	691	賃借(有償)
19	ルーミナス海老名	ルーミナス海老名	H19年度	-	1,246	賃借(有償)
20	パーシモンガーデン	パーシモンガーデン	H21年度	-	642	賃借(有償)
21	ニューフローラ	ニューフローラ	H23年度	-	608	賃借(有償)
合計					7,283	

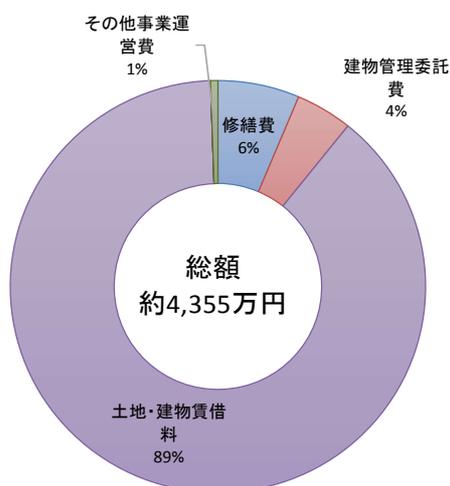
※ 当集計での「-」は、賃借のため本書では把握してない。

※ 建物の施設面積において、「青網掛け」は外装・内装・空調の「全て」を全面的に改修するリニューアルを実施済み、「緑網掛け」は外装・内装・空調の「いずれか」を改修する老朽化対策を実施済みであることを示す。

(3) コスト状況

市営住宅の支出は年間 4,355 万円で、民間借上型住宅の賃借料が全体の約 89%を占めています。

面積あたりのフルコストを見ると施設ごとのばらつきが大きく、市所有と民間借上型で比較しても、いずれがコスト面で有利かは一概に判断できません。



※ 当グラフでは、1%未満の項目は表示しない。

図 3-44 支出の費目別割合(市営住宅)

表 3-59 建物一覧(コスト状況)

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設整備 相当額(千円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたりフルコ スト(円/m ²)
1	中新田住宅	520	12	532	2,091	2,623	10,807
2	国分北三丁目市営住宅	3,182	182	3,364	7,015	10,379	13,989
3	杉久保住宅	909	56	965	8,540	9,506	60,412
4	ブランドールかしわ台	5,070	0	5,070	-	8,045	11,651
5	ルーミナス海老名	18,348	0	18,348	-	23,717	19,030
6	パーシモンガーデン	10,800	0	10,800	-	13,566	21,130
7	ニューフローラ	4,470	0	4,470	-	7,090	11,658
合計		43,300	250	43,551	17,646	74,926	21,240

※ 借上型住宅については民間が建物を整備しているため、年あたり施設整備相当額は計上しない。

※ 面積あたり維持管理費は、施設面積の少数点以下を含めて計算しているため、本書の表中に記載されている数値に基づく算出値と異なる場合がある。

※ 面積あたり維持管理費の合計値欄には、全施設の平均値を記述する。

(4) まとめ

【市営住宅】

- 昭和 39 年度及び昭和 41 年度に建設された杉久保住宅は移転整備を行っており、現状の建物については取り壊しが予定されています。

11. その他施設

(1) サービス状況

ア. 施設の目的・機能

その他施設には、「駐車場・駐輪場」「防災・防犯施設」「消費生活センター」があります。駐車場・駐輪場は 12 施設、防災・防犯施設は 4 施設、消費生活センターは 1 施設の計 17 施設が設置されています。

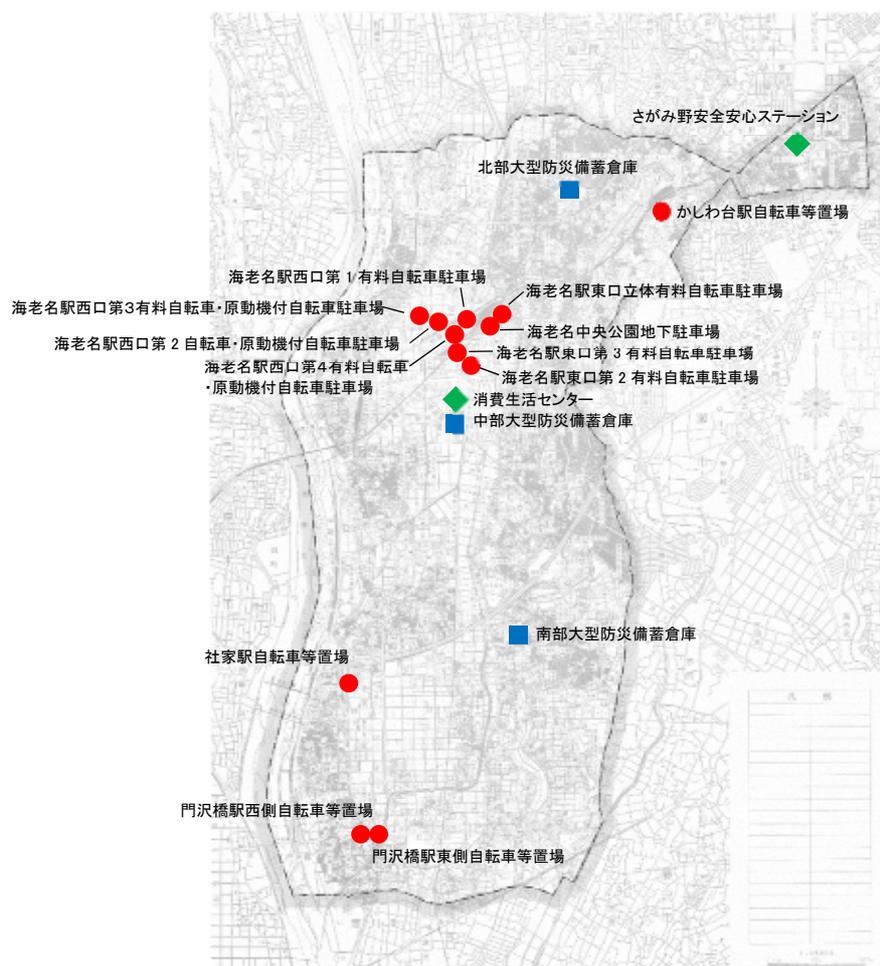


図 3-45 施設位置(その他施設)

表 3-60 施設一覧(その他施設)

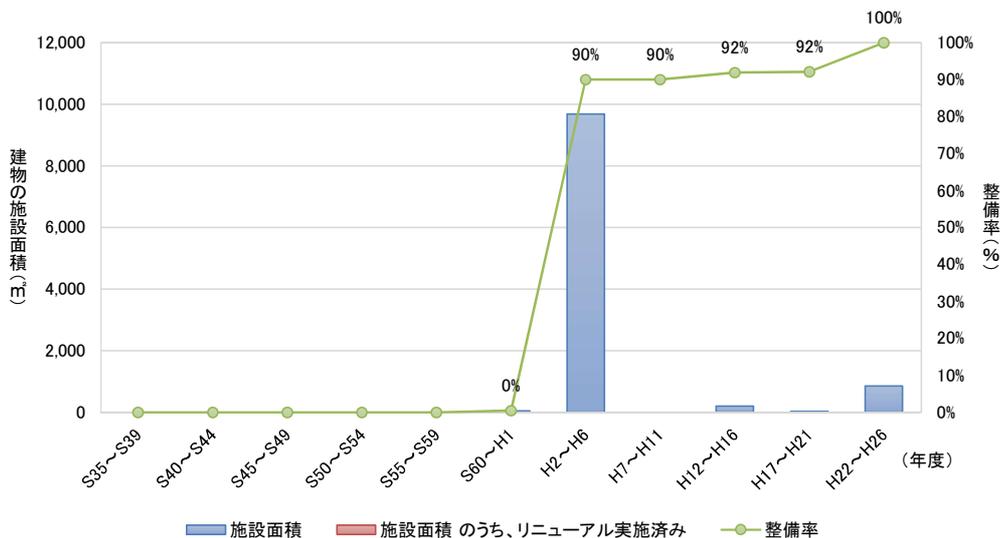
NO	施設名	地域	建設年度	施設面積(m ²)	備考
1	海老名中央公園地下駐車場	国分	H6年度	9,687	
2	かしわ台駅自転車等置場	北部	-	-	建物なし
3	海老名駅西口第1有料自転車駐車場	海西	-	-	建物なし
4	海老名駅西口第2有料自転車・原動機付自転車駐車場	海西	-	-	建物なし
5	海老名駅西口第3有料自転車・原動機付自転車駐車場	海西	-	-	建物なし
6	海老名駅西口第4有料自転車・原動機付自転車駐車場	海西	-	-	建物なし
7	海老名駅東口立体有料自転車駐車場	国分	H15年度	204	
8	海老名駅東口第2有料自転車駐車場	国分	-	-	建物なし
9	海老名駅東口第3有料自転車駐車場	国分	-	-	建物なし
10	社家駅自転車等置場	南部	-	-	建物なし
11	門沢橋駅西側自転車等置場	南部	-	-	建物なし
12	門沢橋駅東側自転車等置場	南部	-	-	建物なし
13	北部大型防災備蓄倉庫	北部	H23年度	280	
14	中部大型防災備蓄倉庫	大谷	H24年度	288	
15	南部大型防災備蓄倉庫	南部	H25年度	280	
16	さがみ野安全安心ステーション	東柏ヶ谷	H19年度	22	
17	消費生活センター	国分	S63年度	46	市庁舎内に設置
合計				10,806	

※ 表中の「-」を示す施設は、区画線のみで建物がない駐輪場であり、建設年度、施設面積とともに記述しない。
 ※ 施設一覧に記載されているのは「建物の建設年度」であり、「施設の開設年度」とは異なる場合がある。

(2) 建物状況

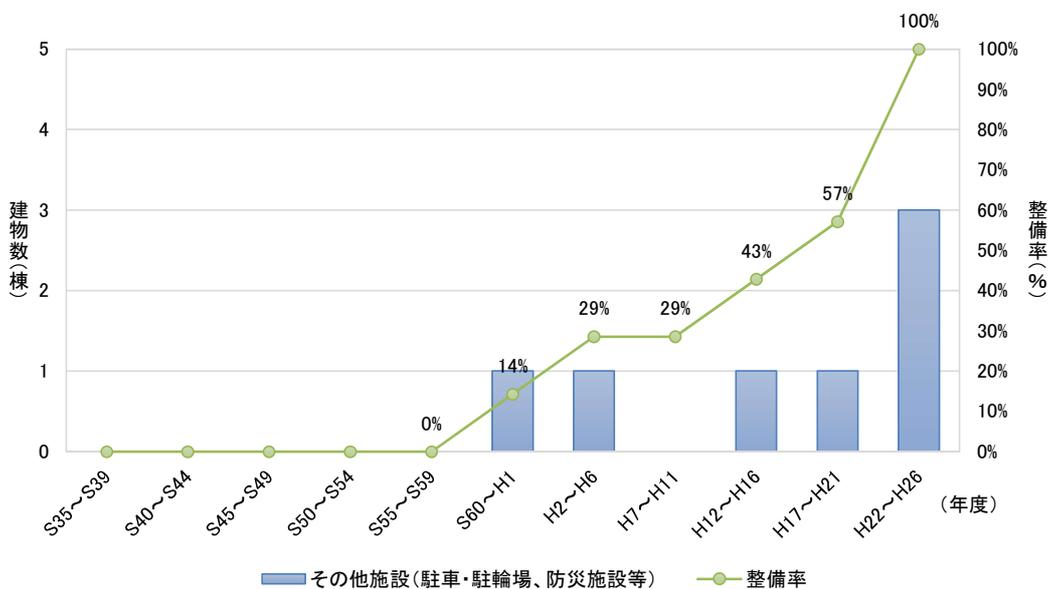
その他施設については、すべての建物が昭和 63 年以降に建設されています。

特に平成 2 年度から 6 年度に建設された建物が多いことから、今後、リニューアル工事・老朽化対策工事の時期が重ならないように計画的に対応する必要があります。



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-46 建設年度別・建物の施設面積(その他施設)



※ 市所有（区分所有を含む）の建物のみを計上する。

図 3-47 建設年度別・建物の棟数(その他施設)

表 3-61 建物一覧(その他施設)

NO	施設名	建物名	建設年度	構造形式	建物の施設面積(m ²)	保有形態
1	海老名中央公園地下駐車場	海老名中央公園地下駐車場	H6年度	鉄筋コンクリート造(RC)	9,687	市所有
2	かしわ台駅自転車等置場	※建物なし(区画線)	-	-		建物なし
3	海老名駅西口第1有料自転車駐車場	※建物なし(駐輪ラック)	-	-		建物なし
4	海老名駅西口第2有料自転車・原動機付自転車駐車場	※建物なし(駐輪ラック)	-	-		建物なし
5	海老名駅西口第3有料自転車・原動機付自転車駐車場	※建物なし(駐輪ラック)	-	-		建物なし
6	海老名駅西口第4有料自転車・原動機付自転車駐車場	※建物なし(駐輪ラック)	-	-		建物なし
7	海老名駅東口立体有料自転車駐車場	海老名駅東口立体自転車駐車場	H15年度	鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)	204	市所有
8	海老名駅東口第2有料自転車駐車場	※建物なし(駐輪ラック)	-	-		建物なし
9	海老名駅東口第3有料自転車駐車場	※建物なし(駐輪ラック)	-	-		建物なし
10	社家駅自転車等置場	※建物なし(区画線)	-	-		建物なし
11	門沢橋駅西側自転車等置場	※建物なし(区画線)	-	-		建物なし
12	門沢橋駅東側自転車等置場	※建物なし(区画線)	-	-		建物なし
13	北部大型防災備蓄倉庫	北部大型防災備蓄倉庫	H23年度	鉄骨造(S)	280	市所有
14	中部大型防災備蓄倉庫	中部大型防災備蓄倉庫	H24年度	鉄骨造(S)	288	市所有
15	南部大型防災備蓄倉庫	南部大型防災備蓄倉庫	H25年度	鉄骨造(S)	280	市所有
16	さがみ野安全安心ステーション	さがみ野安全安心ステーション	H19年度	軽量鉄骨造(LGS)	22	市所有
17	消費生活センター	(市庁舎内)	S63年度	鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)	46	市所有
合計					10,806	

※ 表中の「-」を示す施設は、区画線のみで建物がない駐輪場であり、建設年度、施設面積とともに記述しない。

※ 建物の施設面積において、「青網掛け」は外装・内装・空調の「全て」を全面的に改修するリニューアルを実施済み、「緑網掛け」は外装・内装・空調の「いずれか」を改修する老朽化対策を実施済みであることを示す。

(3) 管理運営状況

12の駐車場・駐輪場のうち8施設は指定管理者による管理、かしわ台駅自転車等置場、社家駅自転車等置場、門沢橋駅西側自転車等置場、門沢橋駅東側自転車等置場は委託による管理が行われています。

大型防災備蓄倉庫や安全安心ステーション、消費生活センターは市の直営です。

開館状況については、ほとんどの駐車場・駐輪場が一日中あるいは深夜遅くまで利用可能です。また安全安心ステーションは22時まで利用可能となっています。

表 3-62 管理運営状況一覧(その他施設)

NO	施設名	管理運営の形態	平日開館状況		休日開館状況		備考
			開館の有無	平日の開館時間	開館の有無	休日の開館時間	
1	海老名中央公園地下駐車場	指定管理者	○	4時30分～25時00分	○	4時30分～25時00分	
2	かしわ台駅自転車等置場	直営	○	0時00分～24時00分	○	0時00分～24時00分	
3	海老名駅西口第1有料自転車駐車場	指定管理者	○	0時00分～24時00分	○	0時00分～24時00分	
4	海老名駅西口第2有料自転車・原動機付自転車駐車場	指定管理者	○	0時00分～24時00分	○	0時00分～24時00分	
5	海老名駅西口第3有料自転車・原動機付自転車駐車場	指定管理者	○	0時00分～24時00分	○	0時00分～24時00分	
6	海老名駅西口第4有料自転車・原動機付自転車駐車場	指定管理者	○	0時00分～24時00分	○	0時00分～24時00分	
7	海老名駅東口立体有料自転車駐車場	指定管理者	○	5時00分～1時30分	○	5時00分～1時30分	
8	海老名駅東口第2有料自転車駐車場	指定管理者	○	0時00分～24時00分	○	0時00分～24時00分	
9	海老名駅東口第3有料自転車駐車場	指定管理者	○	0時00分～24時00分	○	0時00分～24時00分	
10	社家駅自転車等置場	委託	○	0時00分～24時00分	○	0時00分～24時00分	
11	門沢橋駅西側自転車等置場	委託	○	0時00分～24時00分	○	0時00分～24時00分	
12	門沢橋駅東側自転車等置場	委託	○	0時00分～24時00分	○	0時00分～24時00分	
13	北部大型防災備蓄倉庫	直営	-	-	-	-	
14	中部大型防災備蓄倉庫	直営	-	-	-	-	
15	南部大型防災備蓄倉庫	直営	-	-	-	-	
16	さがみ野安全安心ステーション	直営	○	8時00分～22時00分	○	8時00分～22時00分	
17	消費生活センター	直営	○	9時00分～16時30分	×	-	土曜・日曜・祝日(定期休館日)

(4) 利用状況

海老名中央公園地下駐車場は施設面積が 9,687 m²と広く、利用数も年間 17 万台を越えています。

海老名駅周辺の駐輪場について利用数の傾向は様々ですが、いずれも一定の需要があることが分かります。

表 3-63 利用状況一覧(その他施設)

NO	施設名	地域	施設面積 (m ²)	利用指標		利用数				増減の傾向			面積あたり 利用台数 (台/m ²)
				指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度	3年平均	増加	なし	減少	
1	海老名中央公園地下駐車場	国分	9,687	入庫台数	台	192,410	171,756	170,625	178,264			↓	18
2	海老名駅西口第1有料自転車駐輪場	海西	-	契約台数	台	5,474	5,782	6,072	5,776	↑			-
3	海老名駅西口第2有料自転車・原動機付自転車駐輪場	海西	-	契約台数	台	3,595	3,742	3,427	3,588		↑↓		-
4	海老名駅西口第3有料自転車・原動機付自転車駐輪場	海西	-	契約台数	台	3,152	3,046	2,884	3,027			↓	-
5	海老名駅西口第4有料自転車・原動機付自転車駐輪場	海西	-	契約台数	台	1,121	1,755	2,003	1,626	↑			-
6	海老名駅東口立体有料自転車駐輪場	国分	204	契約台数	台	6,403	6,443	8,006	6,951	↑			34
7	海老名駅東口第2有料自転車駐輪場	国分	-	契約台数	台	16,347	16,903	16,293	16,514		↑↓		-
8	海老名駅東口第3有料自転車駐輪場	国分	-	契約台数	台	6,604	7,444	6,844	6,964		↑↓		-

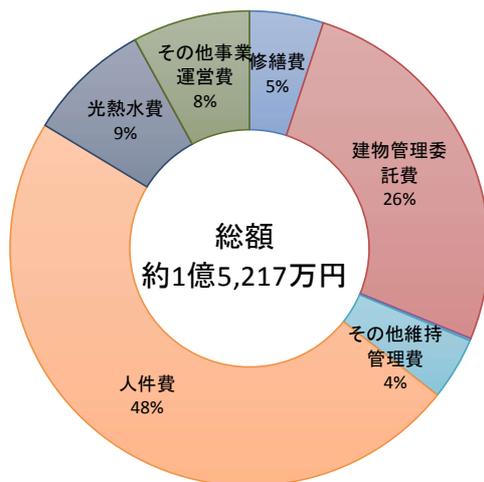
※ かしわ台駅自転車等置場、社家駅自転車等置場、門沢橋駅西側自転車等置場、門沢橋駅東側自転車等置場、さがみ野安全安心ステーション、消費生活センターは利用者数のデータがないため除外する。

※ 大型防災備蓄倉庫(北部、中部、南部)は、一般市民の利用が考えにくいいため除外する。

(5) コスト状況

その他施設の支出は、年間約 1 億 5,217 万円となっています。内訳を見ると、人件費が約 48%、次に建物管理委託費が約 26%となっています。

施設ごとに見ると、海老名中央公園地下駐車場のコストがもっとも大きくなっています。また、海老名駅周辺の自転車駐輪場は一つの指定管理者が一体的に管理しているため、コストが東口立体有料自転車駐輪場に一括計上されています。



※ 当グラフでは、1%未満の項目は表示しない。

図 3-48 支出の費目別割合(その他施設)

表 3-64 コスト一覧(その他施設)

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設整備 相当額(千円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/㎡)
1	海老名中央公園地下駐車場	42,005	19,200	61,205	53,651	114,856	4,336
2	かしわ台駅自転車等置場	68	2,899	2,966	-	2,966	-
3	海老名駅西口第1有料自転車駐車場	-	-	-	-	-	-
4	海老名駅西口第2有料自転車・原動機付自転車駐車場	-	-	-	-	-	-
5	海老名駅西口第3有料自転車・原動機付自転車駐車場	-	-	-	-	-	-
6	海老名駅西口第4有料自転車・原動機付自転車駐車場	-	-	-	-	-	-
7	海老名駅東口立体有料自転車駐車場	12,059	50,403	62,462	1,130	63,592	59,120
8	海老名駅東口第2有料自転車駐車場	-	-	-	-	-	-
9	海老名駅東口第3有料自転車駐車場	-	-	-	-	-	-
10	社家駅自転車等置場	-	1,627	1,627	-	1,627	-
11	門沢橋駅西側自転車等置場	-	-	-	-	-	-
12	門沢橋駅東側自転車等置場	-	-	-	-	-	-
13	北部大型防災備蓄倉庫	0	8,056	8,056	1,551	9,607	0
14	中部大型防災備蓄倉庫	0	8,041	8,041	1,592	9,633	0
15	南部大型防災備蓄倉庫	-	-	-	1,551	1,551	-
16	さがみ野安全安心ステーション	55	230	285	122	407	2,500
17	消費生活センター	-	11,725	11,725	253	11,978	-
合計		54,187	102,181	156,368	59,850	216,218	13,191

- ※ 海老名駅周辺（西口、東口）の自転車駐車場の経費は、駅東口立体有料自転車駐輪場に一括で計上している。
- ※ 門沢橋駅周辺の自転車等置場の経費は、社家駅自転車等置場に一括で計上している。
- ※ 年あたり施設整備相当額について、「-」は建物がない施設である。
- ※ 面積あたり維持管理費は、施設面積の少数点以下を含めて計算しているため、本書の表中に記載されている数値に基づく算出値と異なる場合がある。
- ※ 面積あたり維持管理費の合計値欄には、全施設の平均値（「-」の施設を除く）を記述する。

(6) まとめ

【その他施設】

- 施設規模およびコストは中央公園地下駐車場が突出していますが、地下構造物であることから単純に更新することは考えにくく、適切な保全により長期にわたり利用し続けることが必要と考えられます。

